SONY

3-069-933-02 (1)

# デジタルビデオカメラレコーダー

MICRO MV

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Network Handycam IP

Bluetooth MPEGMOVIE AD

DCR-IP7

本機は、MICROMV（マイクロエムブイ）方式を採用したビデオカメラレコーダーです。

MICROMV**とは**

- DV（デジタルビデオ）と同等の高画質で、約60分間の記録、再生ができます。
- MICROMVのカセットには、すべてマイクロカセットメモリーを搭載しています。本機は、このマイクロカセットメモリーを使った、見たい場面へ手軽にアクセスできる機能（マルチ画面サーチ）を搭載しています。
- データの圧縮方式として、BSデジタル放送やDVDと同じ、「MPEG2」方式を採用しています。

## 必ずお読みください

本機のネットワーク機能は、お買い上げいただいた国のみでご使用できます。

**お使いになる前に**

本機はMICROMV方式のビデオカメラレコーダーです。MICROMVカセットでのみご使用になれます。

**別売りのアクセサリーキットについて**

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。

お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

**ためし撮り**

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

**録画内容の補償はできません。**

万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がなされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

**著作権について**

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

**機器認定について**

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
また本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。

認証機器名：DCR-IP7
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 本製品の底面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

**周波数について**

本製品は2.4 GHz帯の2.400 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

**この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項**

この機器の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、テクニカルインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンターについては、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2. 4 FH 2

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 m以下です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

**液晶画面、ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて**

- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面を強く押さないでください。故障の原因になります。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

**本書内の写真について**

液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

**カール ツァイスレンズ搭載**

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ　カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

*Modulation Transfer Function（モジュレーション トランスファー ファンクション）の略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

# こんなことができます

**動画や静止画を撮影して、再生できます。**

テープに動画を撮影する　22ページ
テープに静止画を撮影する　37ページ
再生する　30ページ
“ メモリースティック ”に静止画を記録する　103ページ
“ メモリースティック ”に動画を記録する　110ページ
“ メモリースティック ”に記録した静止画を見る　119ページ
“ メモリースティック ”に記録した動画を見る　122ページ

**画像をパソコンに取り込めます。**

テープの画像をi.LINKケーブル（別売り）を使ってパソコンで見る　137ページ
“ メモリースティック ”の画像をUSBケーブル（別売り）を使ってパソコンで見る　138ページ

**Bluetooth機能搭載機器（別売り）と接続してインターネットに接続できます。**

インターネットへの接続、電子メールの送受信、Web上の専用アルバムの利用などを行えます。詳しくは、別冊のネットワーク機能取扱説明書をご覧ください。

**さらにこんなことができます**

明るさが気になるときの撮影
- 逆光補正（27ページ）
- プログラム AE（48ページ）
- ホワイトバランス（50ページ）
- 明るさ調節（52ページ）

インパクトのある画像を作るための機能
- デジタルズーム［メニュー］（89ページ）
  お買い上げ時の設定は「切」になっています。（10倍を超えるズームを使うにはメニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。）
- フェーダー（41ページ）
- ピクチャーエフェクト（43ページ）
- デジタルエフェクト（45ページ）
- タイトル（75ページ）
- メモリーミックス（114ページ）

さりげなく自然な画像にするための機能
- 手動ピント合わせ（54ページ）
- 風景（48ページ）

撮影し終わったテープで行う機能
- エンドサーチ（29ページ）
- データコード（32ページ）
- マルチ画面サーチ（60ページ）
- タイトルサーチ（62ページ）
- 日付サーチ（64ページ）
- フォトサーチ（66ページ）

# 目次

## “ メモリースティック ” を使う



## パソコンと接続する



## ネットワーク機能を使う



## 故障かな？と思ったら



## その他

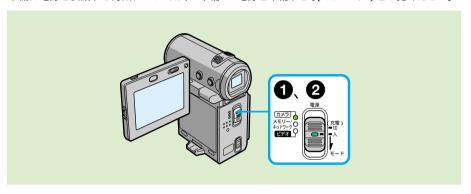


## 検索する

# はじめにお読みください

本機の基本操作方法について説明します。

## 電源スイッチの入れかた

本機に電源を供給する方法については、「準備1　電源を準備する」（14ページ）をご覧ください。

**1 緑のボタンを押しながら電源スイッチを下にずらす。**

本機の電源が入り、カメラランプが点灯する。

**2 電源スイッチを繰り返し下にずらして、モードを切り換える。**

選択したモードのランプが点灯する。

**カメラモード：**テープに撮影するとき

**メモリー/ネットワークモード**

**メモリーモード：**“ メモリースティック ”に撮影する、“ メモリースティック ”の画像を再生・編集するとき

**ネットワークモード：**ネットワーク機能を使うとき。詳しくは、付属のネットワーク機能取扱説明書をご覧ください。

**ビデオモード：**テープを再生・編集する、“ メモリースティック ”の画像を再生・編集するとき

## コントロールボタンの使いかた

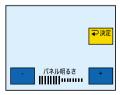
本機の大部分の操作は液晶画面またはファインダーに表示されるボタンをコントロールボタンで操作して行います。

**各々の項目が設定されているときは**
緑色のバー表示が項目の上に出ます。

**選択できないボタンは**
グレー表示になります。

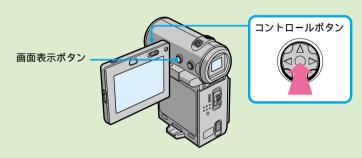
### 1 希望のボタンをコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選んで、中央の●を押す。

選択したボタンがオレンジ色になります。

### 2 中央の●を押して、決定する。

手順1と2を繰り返して、各機能を操作します。

この取扱説明書では、上記の手順を「[項目名] を選んで、決定する」と表記しています。

## 機能ボタンの使いかた

「機能」が表示されていないときは、画面表示ボタンまたはコントロールボタンの中央の●を押すと表示されます。

**液晶画面またはファインダーの表示は**
本体の画面表示ボタンを押して、出したり消したりすることができます。ただし、ファインダーは対面撮影のみ使用できます。

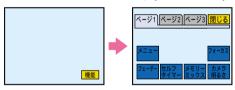
**本機の取扱説明書では**
「機能」ボタンが表示されている画面を「機能画面」と表記します。

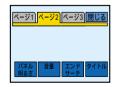
**「機能」を選んで、決定すると**
液晶画面に操作画面が現れます。
［カメラ］ページ1画面のとき
- 「メニュー」
- 「フェーダー」
- 「セルフタイマー」
- 「メモリーミックス」
- 「カメラ明るさ」
- 「フォーカス」

［カメラ］ページ2画面のとき
- 「パネル明るさ」
- 「音量」
- 「エンドサーチ」
- 「タイトル」

［カメラ］ページ3画面のとき
- 「デジタルエフェクト」
- 「カウンターリセット」

**❶ 「機能」をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選んで、中央の●を押す。**

操作に必要なボタンが出ます。（ページ1画面）

「機能画面」
（カメラモードのとき）

**❷ ページを切り換えるときは、「ページ2」または「ページ3」をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選んで、中央の●を押す。**

[ビデオ]ページ1画面のとき
- 「メニュー」
- 「音量」
- 「タイトル」
- 「マルチ画面サーチ」
- [■] / [ 再生]
- [◀◀ ]
- [▶❚❚]
- [▶▶ ]

[ビデオ] ページ2画面のとき
- 「パネル明るさ」
- 「デジタルエフェクト」
- 「エンドサーチ」
- [■] / [ 再生]
- [◀◀ ]
- [▶❚❚]
- [▶▶ ]

[ビデオ] ページ3画面のとき
- 「データコード」
- 「カウンターリセット」
- 「録画そうさ」
- [■] / [ 再生]
- [◀◀ ]
- [▶❚❚]
- [▶▶ ]

電源スイッチでメモリーモードにしたときは98ページをご覧ください。

## ❸ 希望の項目をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選んで、中央の●を押す。

その項目の画面が表示される、または機能が実行されます。

詳しくは各機能の説明をご覧ください。

### 機能画面に戻る

「 決定」、「 戻る」、または「 終了」をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選んで中央の●を押し、ページ1／ページ2／ページ3画面に戻ります。「閉じる」をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選んで、中央の●を押してください。

### 設定を決定する

「 決定」をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選んで、中央の●を押してください。ページ1／ページ2／ページ3画面に戻ります。

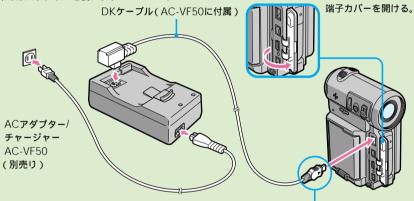
### 設定を解除する

「 切」または「オート」をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選んで、中央の●を押してください。ページ1／ページ2／ページ3画面に戻ります。

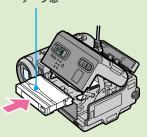
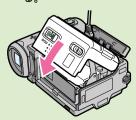
# とにかく撮って見る

**ここでは本機の使いかたを簡単に説明します。詳しくは（　）内のページをご覧ください。**

## 1 電源をつなぐ（17ページ）

屋外ではバッテリーを使います → 16ページ

## 2 カセットを入れる（21ページ）

❶ **開く/⏏カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。**

❷ **カセットの背の中央部を押して、テープ窓を上にして入れる。**

❸ **カセットぶたでカセット入れを閉め、カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。**

## 3 撮影する（22ページ）

❶ **レンズキャップをはずす。**

❷ **開くボタンを押しながら液晶画面を開ける。**

**ファインダー**
液晶画面を閉じているときは、ファインダーをのばし、ここから画像を見ます。

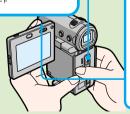
お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。撮影する前に日付・時刻を合わせてください。（18ページ）

❸ **電源スイッチでカメラモードにする。**
カメラランプが点灯します。

❹ **スタート／ストップボタンを押す。**
撮影が始まる。

もう1度押すと止まる。

## 4 液晶画面で見る（30ページ）

❶ **電源スイッチでビデオモードにする。**
ビデオランプが点灯します。

❷ **◀◀ を選んで、決定する。**
テープが巻き戻されます。

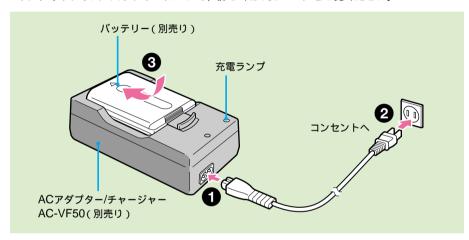
❸ **▶ II を選んで、決定する。**
テープが再生されます。

**ご注意**
**ファインダーや液晶画面、バッテリー、端子カバーをつかんで、本機を持ち上げないでください。**

# 準備1 電源を準備する

## バッテリーを充電する

ACアダプター／チャージャー（別売り）の取扱説明書もあわせてご覧ください。
バッテリーは充電してからお使いください。
本機の電源には、別売りの“インフォリチウム”バッテリー（Fシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

“インフォリチウム”バッテリーについて、詳しくは159ページをご覧ください。

**充電中のランプについて**
下記の場合、充電ランプが点滅することがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーが故障している。

**ACアダプター/チャージャーは**
コンセントの近くでお使いください。
本機をご使用中に不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

### ❶ 電源コードをつなぐ。

### ❷ コンセントにつなぐ。

### ❸ 矢印の方向にバッテリーの端子側を合わせ、カチッというまでしっかりはめる。

充電が始まると、充電ランプが点灯します。
充電が終わると、充電ランプが消えます（**実用充電**）。そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます（**満充電**）。

**ご注意**

ACアダプター/チャージャーのDKプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

**バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐに切れるときは**

満充電をすると正しく表示されます。

**バッテリーは**

室温10℃～30℃で充電することをおすすめします。

InfoLITHIUM **（インフォリチウム）バッテリーとは**

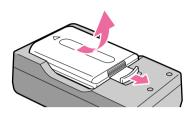
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（Fシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーFシリーズには InfoLITHIUM F SERIES マークがついています。InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

**海外でも充電できます**

詳しくは163ページをご覧ください。

**本体にバッテリーを取り付けたままでも充電できます**

詳しくは161ページをご覧ください。

 **充電終了後、バッテリーをACアダプター/チャージャーから取りはずす。**

## 充電時間

| バッテリー | 満充電時間（実用充電時間） |
| --- | --- |
| NP-FF50 | 120（60） |
| NP-FF70 | 150（90） |

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間（約　分）。
「実用充電」での撮影時間／再生時間は満充電時のおよそ90%。

## 撮影時間

| バッテリー | ファインダーで撮影 | | 液晶画面で撮影 液晶画面バックライト入 | | 液晶画面で撮影 液晶画面バックライト切 | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| | 連続撮影時* | 実撮影時** | 連続撮影時* | 実撮影時** | 連続撮影時* | 実撮影時** |
| NP-FF50 | 80 | 45 | 65 | 35 | 80 | 45 |
| NP-FF70 | 170 | 100 | 140 | 80 | 170 | 100 |

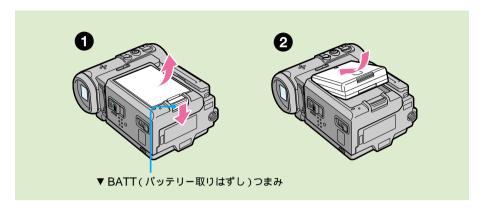
満充電してからの時間（約　分）。

* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

** 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

## 再生時間

| バッテリー | 液晶画面で再生 | 液晶画面を閉じて再生 |
| --- | --- | --- |
| NP-FF50 | 65 | 80 |
| NP-FF70 | 135 | 165 |

満充電してからの時間（約　分）。
25℃で連続再生したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。
実用充電での撮影時間と再生時間は、満充電のおよそ90%です。

## バッテリーを取り付ける

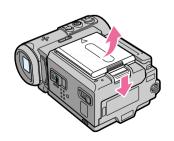
**本機を保管するときは**
バッテリー端子カバーを取りつけてください。これはバッテリー端子を保護するためです。

**バッテリーを取りつけるときは**
確実に取りつけてください。またバッテリーが本体に対して斜めになっていないか、確かめてください。

❶ **▼BATT（バッテリー取りはずし）つまみをずらしながら、バッテリー端子カバーを取りはずす。**

❷ **バッテリーの端子側を本体に合わせ、カチッというまでしっかりはめる。**

### 本体から取りはずす

手順1のようにして取りはずす。

## コンセントにつないで使う

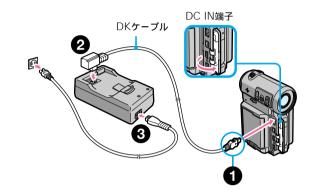
**ご注意**

- ACアダプター/チャージャーにバッテリーをつけたままではお使いいただけません。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

**自動車の電源では**

ご使用いただけません。

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

---

❶ **DKケーブルを本機のDC IN端子につなぐ。**

端子カバーを開け、DKケーブルのプラグの▲マークをレンズ側にしてつなぎます。

---

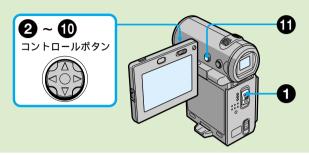
❷ **DKケーブルをACアダプター/チャージャーにつなぐ。**

---

❸ **電源コードをACアダプター/チャージャーとコンセントにつなぐ。**

---

# 準備2 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を必ず設定してください。設定しないと電源を入れ、撮影状態にするたびにお知らせメッセージが出ます。

**日時を設定しないと**
テープと“ メモリースティック ”のデータコードには「– – – – – – – –」と「– –:– –:– –」が記録されます。

**充電式ボタン電池が放電すると**
3か月近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（167ページ）

**本機は海外でもお使いいただけます**
海外でご使用の際は、本機の時計を現地の時刻に合わせてください。（164ページ）ただし、ネットワーク機能は日本国内のみでお使いいただけます。

## エリア→サマータイム→年→月→日→時→分の順で合わせます。

### ❶ 電源スイッチでカメラモードまたはメモリーモードにする。

カメラランプまたはメモリーランプが点灯します。

### ❷ 「機能」を選んで、決定する。

ページ1画面が表示されます。

カメラモードのとき

**真夜中、正午は**
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

## ❸ 「メニュー」を選んで、決定する。

メニュー画面が表示されます。

## ❹ 「[アイコン]」を選んで、決定または▶を押す。

## ❺ 「日時あわせ」を選んで、決定または▶を押す。

## ❻ 使用する地域（エリア）を選んで、決定する。

日本国内で使用するときは、「トウキョウ、ソウル」を選んでください。

準備

次のページへつづく

## ❼ サマータイム中かどうかを選んで、決定する。

サマータイムのときは「入」を、サマータイムでないときは「切」を選んでください。日本国内で使用するときは「切」を選んでください。

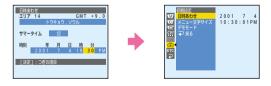
## ❽ 「年」を合わせて、決定する。

年表示は次のように変わります。

→2000←→2001 _ _ _ _ _ _ _2079←

## ❾ 手順8と同様の方法で「月」、「日」、「時」を合わせる。

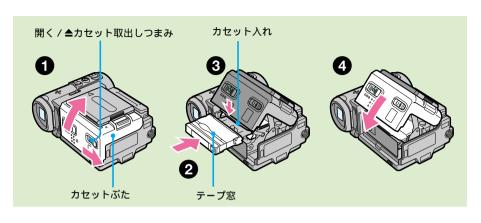
## ❿ 「分」を合わせ、時報と同時に決定する。

時計が動き始めます。

## ⓫ 画面表示ボタンを押す。

メニュー画面が消え、時計設定が終了します。

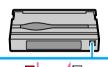
### 機能画面に戻る

手順10のあと、「⊟」、「↩」の順で選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

# 準備3 カセットを入れる

**ご注意**

- カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。
- カセットぶたを操作するときは、ケーブル類（AV接続ケーブル、i.LINKケーブル、USBケーブル）はあらかじめ抜いておいてください。無理に開閉すると、ケーブルやジャック部分に損傷を与えることがあります。

**間違って消さないために**

カセットの背にある誤消去防止ツマミを下にずらし「赤」にします。

録画できない（誤消去防止状態）　録画できる

**カセットラベルについて**

背ラベルは必ず専用のものを正しい位置にご使用ください。所定のラベルエリア [a] 以外への貼付は、機器の誤動作・不具合を招く恐れがあります。

[a]

**1 開く／≜カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。**

カセット入れが自動的に出て開きます。

**2 カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。**

テープ窓を上にして、まっすぐ奥まで押し込んでください。

**3 カセットぶたでカセット入れを軽く押して閉める。**

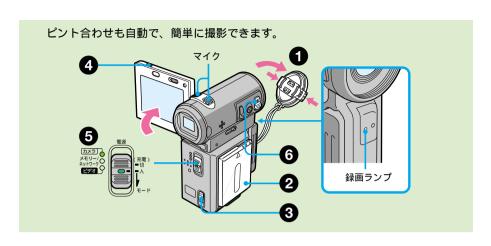
カセット入れが自動的に引き込まれます。

**4 カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。**

## カセットを取り出す

**「カセットを入れる」の手順1を行うと、カセットが自動的に出てきます。カセット入れが完全に開いてから、カセットを取り出してください。**

# 撮影する

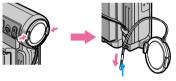
ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

**ご注意**

マイクに手が触れないようにしてください。

**つなぎ撮りについて**

カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した映像はつながります。また、以下の点にご注意ください。

- バッテリーの交換は電源スイッチを「切（充電）」にしてから行う。

## ❶ レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

このひもを引っ張ってレンズキャップを固定します。

## ❷ バッテリーなどの電源を取り付ける。

「準備1　電源を準備する」（14ページ）をご覧ください。

## ❸ カセットを入れる。

「準備3　カセットを入れる」（21ページ）をご覧ください。

## ❹ 「開く」ボタンを押しながら液晶画面を開ける。

**撮影スタンバイが5分以上続くと**
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを「切（充電）」にしてから、もう1度電源を入れてください。ただし、カセットが入っていないときは、撮影スタンバイが5分以上続いても電源は切れません。

**撮影日時/カメラデータは**
テープ上に記録されますが、画面には出ません。再生時にリモコンのデータコードボタンを押せば見ることができます。操作画面のページ3画面で設定することもできます。（32ページ）

**液晶画面を使って撮影するときのバッテリーの使用時間は**
ファインダーを使っての撮影時間より若干短くなります。

**「スタンバイ」表示点滅中は**
スタート/ストップボタンを押すと、スタンバイに戻ります。（録画はされません）

**「録画」表示点滅中は**
スタート/ストップボタンの操作はききません。自動的にスタンバイに戻るまでお待ちください。（点滅中、録画はされています）

## ❺ 電源スイッチでカメラモードにする。

カメラランプが点灯し、撮影スタンバイになります。

## ❻ スタート/ストップボタンを押す。

スタンバイ表示が点滅し、その後「●録画」の表示が出て、撮影が始まります。録画ランプが点灯します。もう1度押すと止まります。

### 撮影が終わったら

1　**電源スイッチを「切（充電）」にする。**
2　**液晶画面を閉じる。**
3　**カセットを取り出す。**
4　**バッテリーなどを取りはずす。**

## 液晶画面の角度を調整する

液晶画面は上図のように角度を調節できます。

液晶画面を閉じるときは、液晶画面を水平にしてから本体に向かって閉じます。

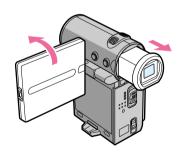
**ご注意**

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。

**液晶画面は**
角度を調節する場合は必ず90°まで 開いた状態で行ってください。

## 対面撮影する

ファインダーと液晶画面で画像が確認できます。

被写体の人が画像を確認するときなどに使用してください。

[撮影中]・[撮影スタンバイ中] または電源スイッチでメモリーモードにしたとき

**ファインダーをのばして、液晶画面を図のように回転させる。**

ファインダーと液晶画面に☺が出ます。

撮影スタンバイ中には❚❚●、撮影中には●が表示されます。

その他の表示では左右が反転するものもあります。また、表示が出ないものもあります。

**対面撮影では**
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

**対面撮影中は**
ファインダーに表示される「機能」は反転して見えます。

**「機能」が表示されているときにコントロールボタンの中央の●を押したときは**
ページ1画面が表示され、ファインダーと液晶画面に☺は出ません。

**画面に「機能」が表示されていないときは**
画面表示ボタンまたはコントロールボタンの中央の●を押すと表示されます。リモコンの画面表示ボタンを押しても表示されます。

**液晶画面の色の濃さは**
メニューの「パネル色のこさ」で変えることができます（89ページ）。

**パネル明るさ／パネル色の濃さ／液晶画面バックライトは**
調節してもテープ上に記録される画像に変化はありません。

**液晶画面バックライトスイッチは**
通常は「入」にして使用します。屋外など明るい場所で使うときに「切」にするとバッテリーを長持ちさせることができます。

## 液晶画面の明るさを調節する

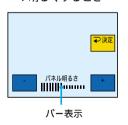
周囲が明るい環境で本機を使用するときは、液晶画面バックライトスイッチを「切」にしてください。

**1** ［撮影中］・［撮影スタンバイ中］・［再生中］・［再生一時停止中］または電源スイッチでメモリーモードにしたとき
**「機能」を選んで、決定する。**
ページ1画面が表示されます。

**2** **「ページ2」を選んで、決定する。**
ページ2画面が表示されます。

**3** **「パネル明るさ」を選んで、決定する。**
パネル明るさ画面が表示されます。

**4** **「−」／「＋」を選ぶ。**
決定ボタンを繰り返し押して、明るさを調節する。
−：暗くするとき
＋：明るくするとき

バー表示

画面を暗くするときは「−」を選んでコントロールボタンの◀を、画面を明るくするときは「＋」を選んで▶を押しても調節できます。

**5** **画面表示ボタンを押す。**
画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

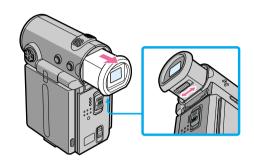
手順4のあと、「↩ 決定」を選んで、決定してください。ページ2画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。機能画面に戻ります。

**ファインダーのバックライトの明るさは**
バッテリーを取り付けている場合、メニューの「VFバックライト」で明るさを変えることができます。（89ページ）

**VFバックライトは**
調節してもテープ上に記録される画像に変化はありません。

## ファインダーの視度を調節する

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダーに表示される文字がはっきり見えるように調節します。

**ファインダーをのばして、視度調節つまみを動かす。**

**ご注意**

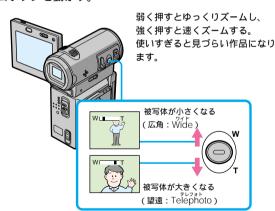
光学ズーム中やワイド端では手ぶれ補正が働きません。

**近くのものにピントがうまく合わないときは**
ズームボタンをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1 cm以上、T側では約80 cm以上です。

**デジタルズームを使うと**
- ズーム倍率は20倍または120倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。

**電源スイッチでメモリーモードにすると**
デジタルズームは使えません。

## ズームする

**ズームボタンを動かす。**

**10倍を超えるズームはデジタルズームになります。**

デジタルズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。（89ページ）

このラインよりT側がデジタルズームになります。
メニューで「デジタルズーム」の倍率を選ぶと表示されます。

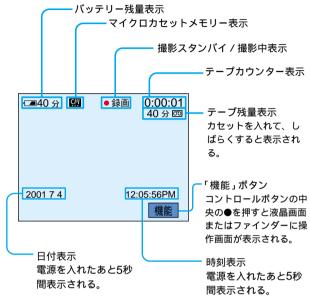
**バッテリー残量表示について**
連続撮影時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

**テープカウンターについて**
テープカウンターは操作画面のページ3画面でリセットすることができます。

**テープの残量表示について**
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。

**撮影日時/カメラデータは**
テープ上に記録されますが、画面には出ません。再生時にリモコンのデータコードボタンを押せば見ることができます。操作画面のページ3画面で設定することもできます。（32ページ）

## 撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

# 逆光補正をする

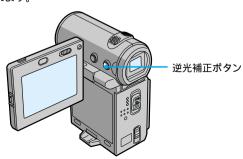
**逆光補正中に**
「カメラ明るさ」を「マニュアル」に設定すると（52ページ）、逆光補正は解除されます。

**操作画面が表示されていると**
逆光補正は働きません。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映る時などに明るさの補正をします。

[撮影中]・[撮影スタンバイ中] または電源スイッチでメモリーモードにしたとき

**逆光補正ボタンを押す。**

逆光補正表示が出ます。逆光補正ボタンをもう1度押すと解除されます。

## セルフタイマー撮影

**ご注意**

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」にしたときまたは電源スイッチでビデオモードにしたとき。

**電源スイッチでメモリーモードにしたときでも**

セルフタイマー撮影ができます。（105ページ）

セルフタイマーを使用すると、10秒後に自動的に撮影が始まります。リモコンも使えます。

**1** ［撮影スタンバイ中］に
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**2** **「セルフタイマー」を選んで、決定する。**

ボタンの上に緑色のバーが表示され、セルフタイマー表示⏻が出ます。

**3** **画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

**4** **スタート／ストップボタンを押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影が始まります。

### 秒読みを停止するとき

スタート／ストップボタンを押してください。再開するにはもう1度押してください。

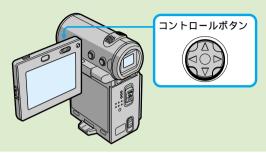
### セルフタイマーで静止画を撮るとき

手順4でフォトボタンを押してください。（38ページ）

### セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度ページ1画面の「セルフタイマー」を選んで、決定してください。セルフタイマー表示⏻が消えます。

# 次の撮影開始点を探す – エンドサーチ

最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。最後に撮影した終わりの部分に戻ります。

**カセットを一度取り出しても**
エンドサーチは働きます。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❷ **「ページ2」を選んで、決定する。**

ページ2画面が表示されます。

❸ **「エンドサーチ」を選んで、決定する。**

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生され、撮影スタンバイに戻ります。
スピーカーで音も確認できます。

### 機能画面に戻る

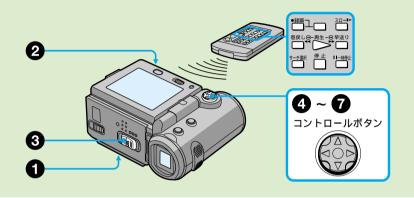
「閉じる」を選んで、決定してください。

### サーチを止める

もう1度「エンドサーチ」を選んで、決定してください。

撮る

# 再生する

撮影した映像を液晶画面で見ます。液晶画面を閉じると、ファインダーで見ることもできます。
リモコンでも操作できます。

**長時間電源を入れたままにしておくと**
本体があたたかくなりますが故障ではありません。

**液晶画面を開けたり閉じたりするときは**
液晶画面を必ず図のようにしてから行ってください。

**ご注意**

ご使用中、▼BATT（バッテリー取りはずし）つまみに触れないようにご注意ください。バッテリーがはずれることがあります。

## ❶ バッテリーなどの電源を取り付け、再生したいカセットを入れる。

## ❷ 開くボタンを押して、液晶画面を開ける。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

180°回転させる。　閉じる。

## ❸ 電源スイッチでビデオモードにする。

電源が入り、ビデオランプが点灯します。

## ❹ [◀◀] を選んで、決定する。

巻き戻しが始まる。

## ❺ [▶ II] を選んで、決定する。

画像が映ります。

## ❻ 音量を調節する。

**1「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。(10ページ)

**2「音量」を選んで、決定する。**

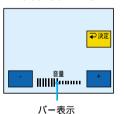
音量画面が表示されます。

**3「−」または「+」を選ぶ。**

決定ボタンを繰り返し押して、音量を調節する。

ー：小さくするとき

＋：大きくするとき

バー表示

音量を下げるときは「ー」を選んでコントロールボタンの◀を、音量を上げるときは「＋」を選んで▶を押しても調節できます。

## ❼「↩ 決定」を選んで、決定する。

ページ1画面に戻ります。

### 機能画面に戻る

「閉じる」を選んで、決定してください。

### 再生を止める

[■] を選んで、決定してください。

見る

**カメラデータとは**
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

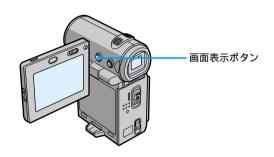
**次のときは、「-- -- --」を表示します**
- 無記録部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ
- 変速再生中

**データコードは**
本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも出ます。

**再生中のバッテリー残量表示について**
連続再生時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

## テープカウンターなどの表示を出す ー 画面表示機能

**本機またはリモコンの画面表示ボタンを押す。**

液晶画面の表示が消えます。
出すときはもう1度押します。

**データコードについて**

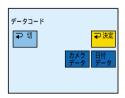
本機は撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。
データコードを表示するには本機またはリモコンを使って以下の操作を行います。

**本機で操作する**

データコードを表示する

① ［再生中］または［再生一時停止中］に「機能」を選んで、決定する。

② 「ページ3」を選んで、決定する。

③ 「データコード」を選んで、決定する。
データコード画面が表示されます。

④ 「カメラデータ」または「日付データ」を選んで、決定する。
選ばれた設定の上に緑色のバーが表示されます。

⑤ 「決定」を選んで、決定する。

⑥ 「閉じる」を選んで、決定する。

データコード表示を消す

① 手順4で「⮐ 切」を選んで、決定する。

②「閉じる」を選んで、決定する。
　データコード表示が消えます。

**リモコンで操作する**

［再生中］または［再生一時停止中］にリモコンのデータコードボタンを押す。
押すたびに次のように表示が変わります。

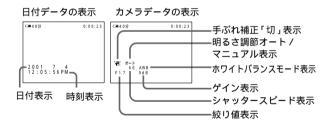
「日付データの表示」→「カメラデータの表示」→（表示なし）

**リモコンで操作中、カメラデータを表示しないようにするには**

メニューの ETC 項目の「データコード」から「日付データ」を選ぶ。（89ページ）

リモコンのデータコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「日付データの表示」↔（表示なし）

見る

**画面上のビデオ操作ボタンについて**

| | |
|---|---|
| ►II | 再生/一時停止 |
| ■ | 停止 |
| ◄◄ | 巻戻し |
| ►► | 早送り |

**一時停止（静止画）について**
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、►II を選んで、決定するか、リモコンの再生ボタンを押します。

## いろいろな再生

ビデオモードのときに操作します。

### 一時停止する（静止画を見る）

［再生中］に ►II を選んで、決定する。
もう1度 ►II を選んで決定すると、ふつうの再生に戻る。
リモコンの一時停止ボタンを押す。
もう1度押すとふつうの再生に戻る。

### 早送りする

［停止中］に ►► を選んで、決定する。
►II を選んで決定すると、ふつうの再生に戻る。
リモコンの早送りボタンを押す。
再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 巻き戻す

［停止中］に ◄◄ を選んで、決定する。
►II を選んで決定すると、ふつうの再生に戻る。
リモコンの巻戻しボタンを押す。
再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 画像を見ながら早送り/巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

［再生中］に ►► または ◄◄ を選んで、決定ボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。
リモコンの早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

### 早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

［早送り中］または［巻き戻し中］に ►► または ◄◄ を選んで、決定ボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。
リモコンの早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

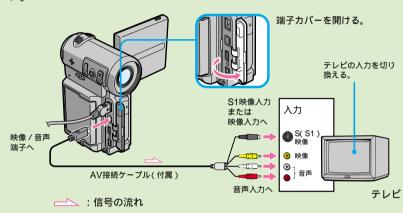
### スロー画を見る

［再生中］にリモコンのスローボタンを押す。
一時停止ボタンを押すと一時停止し、再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

### 最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

［停止中］に操作画面のページ2画面で「エンドサーチ」を選んで、決定する。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

# テレビで見る – AV接続ケーブルでつなぐ

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は別売りのACアダプター／チャージャーを使って、コンセントからとることをおすすめします（17ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

**S映像端子を使うと**
画像をより忠実に再現できます。テレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりにS映像端子をテレビのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。
MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

**テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには**
メニューで ETC 項目の「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にします（89ページ）。
画面表示ボタンを押して表示を出したり消したりすることができます。

本機に付属のAV接続ケーブルには映像端子とS映像端子が装備されています。お使いになる機器にあわせて、使用する端子のみを相手機につないでください。

## すでにテレビにビデオがつながっているとき

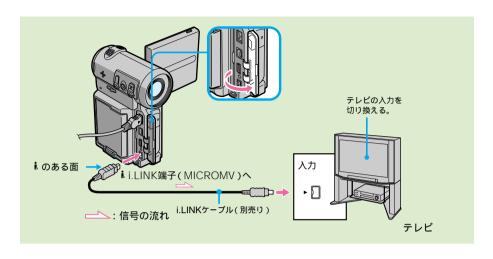
**本機をビデオの外部入力端子につなぐ。**

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

## 音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

**AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。**

音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

# テレビで見る – i.LINKケーブルでつなぐ

本機は、i.LINK端子（MICROMV）を装備しています。別売りのi.LINKケーブルを使って本機とテレビを接続し、撮影した画像を見ることができます。
本機とi.LINKケーブルで接続することができる機器は、2001年秋発売予定のソニー製テレビ、KD-28HD800、KD-32HD800、KD-36HD800などです。

# テープに静止画を撮る – テープフォト撮影

テープに静止画を記録できます。60分記録できるテープなら約510枚撮れます。本機では“ メモリースティック ”にも静止画を記録できます。（103ページ）

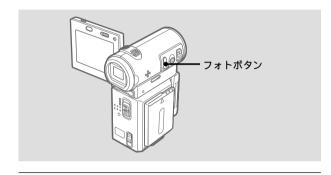
- ビデオプリンターでプリントしたいとき
- 後からテレビやモニターで見たいとき

**ご注意**

- 撮影中にテープフォト撮影することはできません。
- テープフォト撮影中はモードや設定を変更することはできません。
- 静止画を撮影するときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。
- 以下の設定中や操作中は、テープフォト撮影できません。
  – フェーダー
  – デジタルエフェクト

**動きのある画像をテープフォト撮影すると**
他の機器で再生したときに画像がぶれることがありますが、故障ではありません。

**リモコンのフォトボタンで撮影すると**
押したときに映っている画像が記録されます。

**ブレの少ない、美しい静止画を撮影するには**
“ メモリースティック ”を使った「メモリーフォト撮影」をおすすめします。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
**フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。**

画像が静止画になり、キャプチャー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう1度軽く押してください。

❷ **フォトボタンを深く押す。**

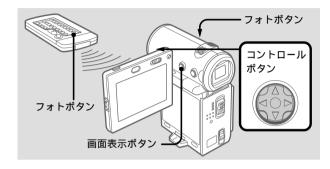
録画中は1秒ごとに赤い丸が消えていく。

ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録されます。記録中の音声も同時に録音されます。
記録中に映る画像は静止画となります。

**ご注意**

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」にしたときまたは電源スイッチでビデオモードにしたとき。

## セルフタイマーテープフォト撮影

セルフタイマーを使って静止画を撮影することができます。リモコンも使えます。

**1** ［撮影スタンバイ中］に
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**2** **「セルフタイマー」を選んで、決定する。**

ボタンの上に緑色のバーが表示され、セルフタイマー表示が出ます。

**3** **画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

**4** **フォトボタンを深く押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影されます。

### セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度ページ1 画面の「セルフタイマー」を選んで、決定してください。セルフタイマー表示が消えます。

リモコンを使って撮影を中断することはできません。

# 横長の画面にする – ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき

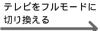
**ワイドTVモード**
**で撮影**

液晶画面/
ファインダー

通常のテレビで
再生

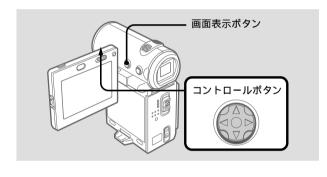
ワイドテレビで
再生

画像が縦長になります。

テレビをフルモードに
切り換える

**ワイドTVモード中は**
以下の操作はできません。
- オールドムービー
- バウンド

**録画中は**
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」にしてから、ページ1画面のメニューの「ワイドTV」を「切」にしてください。

**テレビの接続について**
下記の接続のとき、「ワイドTVモード」で記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム（ID-1/ID-2）方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS（S1）映像入力端子に接続したとき。

**ID-1方式とは**
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を通信するシステムです。この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わります。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
**「機能」を選んで、決定する。**
ページ1画面が表示されます。

❷ **「メニュー」を選んで、決定する。**
メニュー画面が表示されます。

❸ **C の項目の「ワイドTV」を選んで、決定またはを押す。**

❹ **「入」を選んで、決定する。**

❺ **画面表示ボタンを押す。**
画面表示が消えます。

**ID-2方式とは**
ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

**S1映像信号とは**
通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されています。

### ワイドTVモードを解除する

メニューで「ワイドTV」を「切」にしてください。

### 機能画面に戻る

手順3のあと「⮐ 戻る」、「⮐」の順で選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。次に、「閉じる」を選んで、決定してください。

# 効果的な場面転換をする – フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン

**ノーマルフェーダー**

**モザイクフェーダー**

**バウンド**[1) 2)]

フェードアウト

**モノトーンフェーダー**　フェードインは白黒からカラーに、フェードアウトはカラーから白黒になります。

1）メニューで「デジタルズーム」が「切」になっているときのみ使えます。
2）フェードインのみ

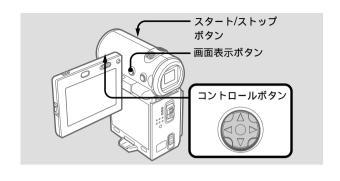
**ご注意**

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。
– デジタルエフェクト
– テープフォト撮影

**バウンド動作中には以下の操作ができません**
- カメラ明るさ
- フォーカス
- ズーム
- ピクチャーエフェクト

**以下の操作中にはバウンドが選択できません**
- メニューでデジタルズームの「20×」または「120×」を選択しているとき
- ワイドTV
- ピクチャーエフェクト
- プログラムAE

**電源スイッチでメモリーモードにしたときは**

フェードイン・フェードアウトはできません。

**1** • フェードインは［撮影スタンバイ中］に
• フェードアウトは［撮影中］に
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**2** **「フェーダー」を選んで、決定する。**

フェーダー画面が表示されます。

**3** **希望のフェーダー項目を選んで、決定する。**

選ばれた設定の上に緑色のバーが表示されます。

**4** **画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

**5** **スタート/ストップボタンを押す。**

フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消えます。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除されます。

**機能画面に戻る**

手順3のあと、「 決定」を選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

**フェードイン・フェードアウトを解除する**

スタート／ストップボタンを押す前に手順3の画面で「 切」を選んで、決定してください。

# 画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

**ネガアート**
→写真のネガフィルムのように

**ソラリ**
→明暗をはっきりさせたイラストのように

**スリム**
→縦に引き伸ばしたように

**ストレッチ**
→横に引き伸ばしたように

**パステル**
→淡い色のパステル画のように

**モザイク**
→タイルを組み合わせたように

**セピア**→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

**ピクチャーエフェクト中は**
オールドムービーは選べません。

**電源スイッチを「切（充電）」にすると**
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［撮影中］または［撮影スタンバイ中］に
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❷ **「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

❸ **[M] の項目の「ピクチャーエフェクト」を選んで、決定または▶を押す。**

❹ **希望の項目を選んで、決定する。**

❺ **画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順4のあと、「⮐ 戻る」、「⮐」の順で選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。次に、「閉じる」を選んで、決定してください。

### ピクチャーエフェクトを解除する

手順4の画面で「ピクチャーエフェクト」の「切」を選んで、決定してください。

# 特殊な演出を加えて撮る – デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

**スチル**
あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

**フラッシュ**（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

**ルミキー**（ルミナンスキー）
あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

**トレイル**
被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

**スローシャッター**
シャッタースピードを落とす。暗いところで撮影しやすい。

**オールドムービー**
画面を横長、画像をセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

**（スチル）**

静止画　　動画

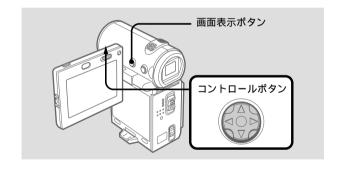
**（ルミキー）**

静止画　　動画

**ご注意**

- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
  – フェーダー
  – プログラムAEのキャンドル（表示が点滅します）
  – テープフォト撮影
- スローシャッターを選ぶとプログラムAEは使えません。
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
  – ワイドTV
  – ピクチャーエフェクト
  – プログラムAE
- スローシャッター、オールドムービー中は手ぶれ補正は働きません。

**電源スイッチを「切（充電）」にすると**
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

**1** ［撮影中］または［撮影スタンバイ中］に**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**2** **「ページ3」を選んで、決定する。**

ページ3画面が表示されます。

使いこなす―撮影―

次のページへつづく

**スローシャッターでは**
自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

**スローシャッターのシャッタースピードは**

| 表示 | シャッタースピード |
|---|---|
| スローシャッター1 | 1/30 |
| スローシャッター2 | 1/15 |
| スローシャッター3 | 1/8 |
| スローシャッター4 | 1/4 |

### ❸ 「デジタルエフェクト」を選んで、決定する。

デジタルエフェクト画面が表示されます。

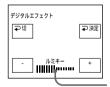
### ❹ 希望のデジタルエフェクト項目を選んで、決定する。

スチルとルミキーでは、コントロールボタンの中央の●を押したときの画像が静止画として記憶される。

### ❺ 「ー」または「＋」を選ぶ。

決定ボタンを繰り返し押して、効果を調節する。

ー：効果を小さくするとき

＋：効果を大きくするとき

効果を小さくするときは「ー」を選んでコントロールボタンの◀を、効果を大きくするときは「＋」を選んで▶を押しても調節できます。

バー表示：スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルのときに表示される。

調節する内容は以下の通り。

| | |
|---|---|
| スチル | 撮影中の動画の背景にある静止画の写り具合。 |
| フラッシュ | フラッシュの間隔。 |
| ルミキー | 静止画の、動画を取り込む部分の明るさの度合い。 |
| トレイル | 残像が残る時間。 |
| スローシャッター | シャッタースピード。<br>数字を大きくするほど遅くなる。 |
| オールドムービー | 調整はない。 |

### ❻ 画面表示ボタンを押す。

画面表示が消えます。

#### 機能画面に戻る

手順5のあと、「↩ 決定」を選んで、決定してください。ページ3画面に戻ります。次に「閉じる」を選んで、決定してください。

#### デジタルエフェクトを解除する

手順3の画面で「↩ 切」を選んで、決定してください。

# 撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

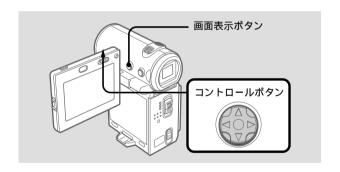
**スポットライト**
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

**ソフトポートレート**
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

**ビーチ&スキー**
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

**サンセット&ムーン**
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

**風景**
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

**キャンドル**
暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。

❶ ［撮影スタンバイ中］または電源スイッチでメモリーモードにしたとき
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❷ **「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

**ご注意**

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  – スポットライト
  – ビーチ＆スキー
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  – サンセット＆ムーン
  – 風景
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
  – スローシャッター
  – オールドムービー
  – バウンド
- キャンドル中は以下の操作ができません。
  – デジタルエフェクト
- 電源スイッチでメモリーモードにしたときは、キャンドルの操作ができません。（表示が点滅します）
- キャンドル中は手ぶれ補正は働きません。

**ホワイトバランスを「オート」にしているときは**
プログラムAEを使うときも自動的にホワイトバランスが調節されます。

**蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると**
ソフトポートレートモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。

### ❸ [M] の項目の「プログラムAE」を選んで、決定または▶を押す。

### ❹ 希望の項目を選んで、決定する。

### ❺ 画面表示ボタンを押す。

画面表示が消えます。画面の左下にモードアイコンが表示されます。

### 機能画面に戻る

手順4のあと、「↩ 戻る」、「↩」の順で選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### プログラムAEを解除する

手順4の画面で「プログラムAE」の「オート」を選んで、決定してください。

# 自然な色あいに調節する – ホワイトバランス

明るさや撮影する状況に合わせて、自然な色あいの画像になるように調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき

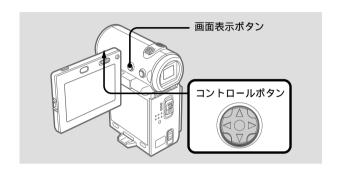
**スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は**
☼（屋内）に設定して撮影することをおすすめします。

**蛍光灯照明下で撮影する場合は**
ホワイトバランスを自動調節にするか、ホールドに設定して撮影することをおすすめします。☼（屋内）に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しくとれない場合があります。

**ホワイトバランスを「オート」にしたままで**
次のように撮影条件を変えたときは、電源スイッチでカメラモードにしてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けるとよりよい色あいに調節されます。

- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき

**ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで**
次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にしてしばらくしてから「ホールド」に戻してください。

- プログラムAEのモードを変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき

❶ ［撮影中］・［撮影スタンバイ中］または電源スイッチでメモリーモードにしたとき
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❷ **「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

❸ **の項目の「ホワイトバランス」を選んで、決定または▶を押す。**

## ❹ 希望の項目を選んで、決定する。

HOLD（ホールド）

単一色の被写体や背景を撮るとき

屋外（☀）

- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

屋内（💡）

- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

## ❺ 画面表示ボタンを押す。

画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順4のあと、「⮐ 戻る」、「⮐」の順で選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### 自動調節にする

手順4の画面で「ホワイトバランス」の「オート」を選んで、決定してください。

# 手動で画像の明るさを調節する

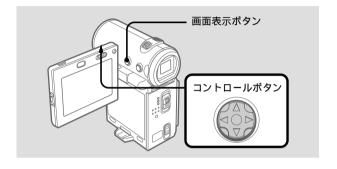
画像をお好みの明るさに手動で調節し、固定することができます。通常は、自動的に明るさの調節が行われています。

- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいとき

**ご注意**

「カメラ明るさ」調節をしているときは逆光補正ボタンは働きません。

**次の場合、明るさ調節は自動に戻ります**

プログラムAEのモードを変える。

❶ [撮影中]・[撮影スタンバイ中] または電源スイッチでメモリーモードにしたとき

**「機能」を選んで、決定する。**

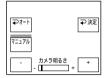
ページ1画面が表示されます。

❷ **「カメラ明るさ」を選んで、決定する。**

カメラ明るさ画面が表示されます。

❸ **「マニュアル」を選んで、決定する。**

## ❹ 「−」または「＋」を選ぶ。

決定ボタンを繰り返し押して、明るさを調節する。

−：暗くするとき

＋：明るくするとき

暗くするときは「−」を選んでコントロールボタンの◀を、明るくするときは「＋」を選んで▶を押しても調節できます。

## ❺ 画面表示ボタンを押す。

画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順4のあと、「 決定」を選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### 自動調節にする

手順4の画面で「 オート」を選んで、決定してください。

# 手動でピントを合わせる

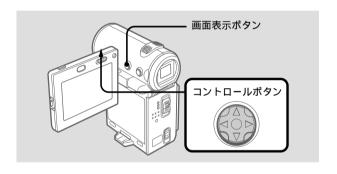
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。通常は自動的にピントの調節が行われています。

- 自動ではピントが合いにくいとき
  - 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  - 被写体が横縞だけのもののとき
  - 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき
- 三脚を使い、静止した被写体をピントを固定して撮るとき

**正確にピントを合わせるには**
ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

**近づいて大きく撮るとき**
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

**手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。**

- 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

❶ ［撮影中］・［撮影スタンバイ中］または電源スイッチでメモリーモードにしたとき
**「機能」を選んで、決定する。**
ページ1画面が表示されます。

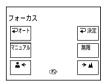
❷ **「フォーカス」を選んで、決定する。**
フォーカス画面が表示されます。

❸ **「マニュアル」を選んで、決定する。**
ボタンの上に緑色のバーが表示され、手動ピント合わせ表示が出ます。

## ❹ 「👤←」または「→⛰」を選ぶ。

決定ボタンを繰り返し押して、ピントの合う位置を調節する。

👤：近くにピントを合わせるとき。

⛰：遠くにピントを合わせるとき。

近くにピントを合わせるときは「👤←」を選んでコントロールボタンの◀を、遠くにピントを合わせるときは「→⛰」を選んで▶を押しても調節できます。

## ❺ 画面表示ボタンを押す。

画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順4のあと、「⮐ 決定」を選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### 自動調節にする

手順4の画面で「⮐ オート」を選んで、決定してください。Ⓕまたは⛰、👤表示が消え、自動調節に戻ります。

### ピントを無限遠にして撮影する

手順4の画面で「無限」を選んで、決定してください。ピントが無限遠になり、⛰の表示が出ます。
遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがあってしまうときに使います。

# 画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

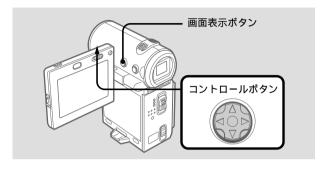
再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、セピア、モノトーン、ソラリが使えます。

**ご注意**

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “メモリースティック”に取りこむか（107、111ページ）、本機を再生機とし他のビデオへ録画してください。

**ピクチャーエフェクトを加えた画像は**
i.LINK端子（MICROMV）からは出力されません。

**電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止すると**
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［再生中］または［再生一時停止中］に**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❷ **「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

❸ **[M] の項目の「ピクチャーエフェクト」を選んで、決定または▶を押す。**

❹ **希望の項目を選んで、決定する。**

各ピクチャーエフェクトについて詳しくは、43ページをご覧ください。

❺ **画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

もう1度画面表示ボタンを押すと、ビデオ操作ボタンが表示されます。

### 機能画面に戻る

手順4のあと、「⮐ 戻る」、「⮐」の順で選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### ピクチャーエフェクトを解除する

手順4の画面で「ピクチャーエフェクト」の「切」を選んで、決定してください。

# 画像にデジタルエフェクトを加えて見る

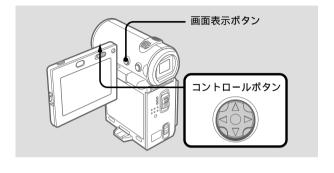
再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

**ご注意**

- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “ メモリースティック ”に取りこむか（107、111ページ）、本機を再生機とし他のビデオへ録画してください。

**デジタルエフェクトを加えた画像は**
i.LINK端子（MICROMV）からは出力されません。

**電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止すると**
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［再生中］または［再生一時停止中］に
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❷ **「ページ2」を選んで、決定する。**

ページ2画面が表示されます。

❸ **「デジタルエフェクト」を選んで、決定する。**

デジタルエフェクト画面が表示されます。

❹ **希望の項目を選んで、決定する。**

スチルとルミキーでは、決定したときの画像が静止画として記憶されます。

❺ **「−」または「＋」を選ぶ。**

決定ボタンを繰り返し押して、効果を調節してください。詳しくは45ページをご覧ください。

**❻ 画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。
もう1度画面表示ボタンを押すと、ビデオ操作ボタンが表示されます。

### 機能画面に戻る

手順5のあと、「⮐ 決定」を選んで、決定してください。ページ2画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### デジタルエフェクトを解除する

手順4または5の画面で「⮐ 切」を選んで、決定してください。

# 見たい場面を探す – マルチ画面サーチ

マルチ画面サーチ機能を使うと、テープに記録されている動画や静止画のサムネイルをまとめてインデックス画面に表示することができます。

サムネイルを選ぶと撮影した日付やタイトルも表示されます。

サムネイルを選んで決定すると、自動的にその画面が頭出しされ、再生が始まります。

リモコンでも操作できます。

サムネイルとは、録画された最初の画像を頭出しのために静止画にしたものです。

**テープの途中に無記録部分があると**
サーチが正しく働かないことがあります。

**1つのカセットのカセットメモリーに入るサムネイルは**
約400です。

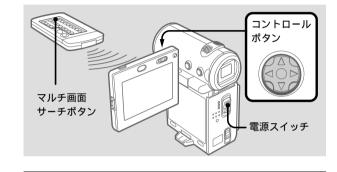
**1回にできるサムネイルの数は**
11までです。

**リモコンのマルチ画面サーチボタンを押すと**
マルチ画面サーチ画面が出ます。

**マルチ画面サーチ中は**
本機の他の機能は操作できません。

**サムネイル画像は**
後から変更することはできません。

**デジタルエフェクト中にマルチ画面サーチを行うと**
デジタルエフェクトは解除されます。

**次の場合、サムネイルが11枚表示されないことがあります**
- 1回のスキャンでサムネイルが表示される範囲内の録画回数が11回に満たないとき
- 途中から上書きされたテープをスキャンしたとき
- マイクロカセットメモリーのデータをすべて消去したとき（87ページ）

**❶ 電源スイッチでビデオモードにする。**

**❷ 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**❸ 「マルチ画面サーチ」を選んで、決定する。**

マルチ画面サーチ画面が表示されます。

**❹ 「⬅」または「➡」を選んで、決定する。**

選んだ方向にテープのスキャンが始まり、「➡」方向では左上から、「⬅」方向では右下からサムネイルが表示されます。

スキャンが完了すると、左上画面が黒くなり、自動的に停止します。

**ご注意**

- テープの状態によっては、サムネイルが表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- サムネイル画像にノイズが出ることがありますが、記録済みの画像には影響はありません。

**スキャンの途中で「⬅」または「➡」を選んで決定すると**
次の11枚をスキャンすることができます。

**スキャン完了前で、最初の画像が表示されていなくても**
サムネイル場面の頭出し再生ができます。

## ❺ 頭出ししたいサムネイルを選んで、決定する。

頭出しが始まり、選んだサムネイルの場面で自動的に再生が始まります。

バーに表示される青い部分は、スキャンする範囲を表しています。白い部分は、記録済みの範囲を表しています。

### 再生画面からマルチ画面サーチ画面に戻る

「⮐ 戻る」を選んで、決定してください。

### サーチを止める

リモコンの停止ボタンを押してください。

### マルチ画面サーチを終了する

「⮐ 終了」を選んで、決定してください。

### 再生画面からマルチ画面サーチを終了する

「閉じる」を選んで、決定してください。

### リモコンで操作するとき

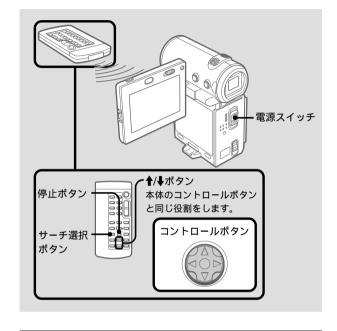
# タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

タイトルを入れた場面を探せます。

リモコンでのみ操作できます。

タイトルを入れた場面を探したいとき

**テープの途中に無記録部分があると**
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

**タイトルを入れるには**
75ページをご覧ください。

❶ **電源スイッチでビデオモードにする。**

❷ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「タイトルサーチ」を選ぶ。**

タイトルサーチ画面が表示されます。

次の順で変わります。

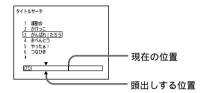
→ タイトルサーチ → 日付サーチ → フォトサーチ ─
└(表示なし) ←

## ❸ リモコンの↑または↓ボタンを押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まります。

### サーチを止める

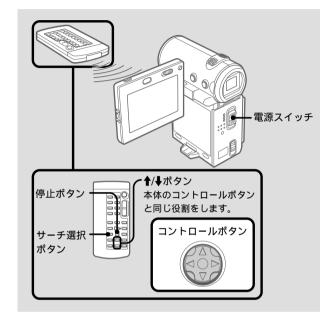
リモコンの停止ボタンを押してください。

使いこなす―再生―

# 撮影日で頭出しする – 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。
リモコンでのみ操作できます。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するとき

**テープの途中に無記録部分があると**
日付サーチが正しく働かないことがあります。

**1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは**
20までです。

❶ **電源スイッチでビデオモードにする。**

❷ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。**

日付サーチ画面が表示されます。

次の順で変わります。

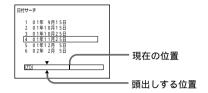
→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→(表示なし)→

### ❸ リモコンの↑または↓ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まります。

### サーチを止める

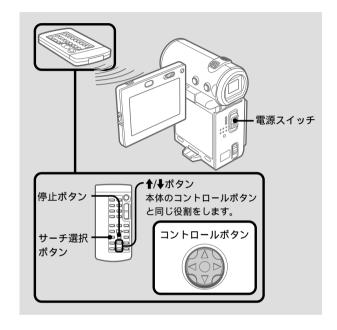
リモコンの停止ボタンを押してください。

使いこなす―再生―

# 見たい静止画を探す – フォトサーチ

「テープフォト撮影」でテープに撮影した静止画を頭出しできます。
リモコンでのみ操作できます。

静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するとき

**テープの途中に無記録部分があると**
フォトサーチが正しく働かないことがあります。

**フォトサーチできる枚数は**
最大約400枚までです。ただし途中に動画が記録されている場合は、サーチできる枚数は少なくなります。

**❶ 電源スイッチでビデオモードにする。**

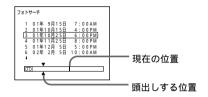
**❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。**

フォトサーチ画面が表示されます。

次の順で変わります。

→ タイトルサーチ → 日付サーチ → フォトサーチ →（表示なし）→

### ❸ リモコンの↑または↓ボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。

選んだ撮影日時の静止画が出ます。

### サーチを止める

リモコンの停止ボタンを押してください。

# 他のビデオへダビングする

### 付属のAV接続ケーブルでつなぐ

本機を再生機として使い、接続したビデオで録画、編集できます。

本機に付属のAV接続ケーブルには映像端子とS映像端子が装備されています。お使いになる機器にあわせて、使用する端子のみを相手機につないでください。

再生側

録画側

S映像入力端子または
映像入力端子へ

ビデオ入力

S(S1)
映像

映像

音声

映像／音声端子へ

音声入力端子へ

：信号の流れ

AV接続ケーブル（付属）

**相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。**

8、Hi8、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、B、ED Beta、MiniDV、DV、D、MICROMV

**録画側ビデオの音声入力がひとつ（モノラル）の場合**

AV接続ケーブルの黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

**S映像端子を使うと**

画像をより忠実に再現できます。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりにS映像端子をビデオのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。

MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

- メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）
- 本機の画面表示ボタンまたはリモコンの画面表示ボタン、データコードボタン、サーチ選択ボタンを押して画面表示を消してください。消さないでダビングするとテープに記録されます。
- ページ3画面の「データコード」は「切」に設定しておいてください。

**❶ カセットを準備する。**

本機　：撮影済みのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

**❷ 録画機の準備をする。**

ビデオ入力端子にAV接続ケーブルをつなぐ。入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にしてください。詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

**❸ 本機の電源スイッチでビデオモードにする。**

**❹ 本機で再生する。**

**❺ 録画機で録画を始める。**

詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

### ダビングが終わったら

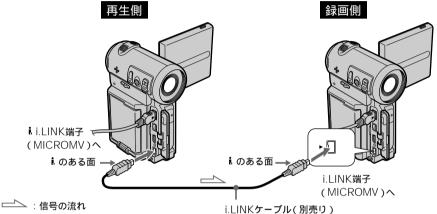
録画機の録画を停止し、本機での再生を停止する。

## i.LINKケーブルでつなぐ

本機とMICROMV方式対応の他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（別売り）でつなぎダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容、“ メモリースティック ”のインデックス画面の文字はダビングできません。

（本機とDV機器を接続することはできません。）

**i.LINKケーブルで本機と接続できるのは1台だけです**
i.LINKについて詳しくは160ページをご覧ください。

**デジタルダビング編集中は以下の操作はできません。**
- ピクチャーエフェクト
- デジタルエフェクト

**再生一時停止にしている画像は**
- i.LINK端子（MICROMV）を使ってダビングすると粗い画像になります。
- 他機で再生したとき画像がぶれることがあります。
- 他機で再生したとき、画像に時間的なずれが生じることがあります。

### ❶ カセットを準備する。

本機　：撮影済みのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

### ❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「MPEG入力」にしてください。詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

### ❸ 本機の電源スイッチでビデオモードにする。

### ❹ 本機で再生する。

### ❺ 録画機で録画を始める。

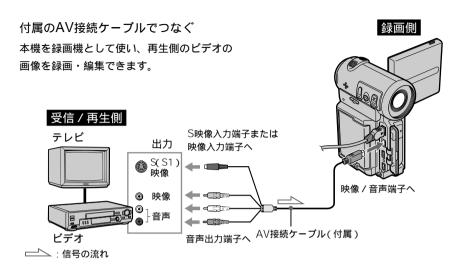
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

### ダビングが終わったら

録画機の録画を停止し、本機での再生を停止する。

# ビデオから録画する

### 付属のAV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、再生側のビデオの画像を録画・編集できます。

**ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ（モノラル）の場合**

AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

**S映像端子を使うと**

画像をより忠実に再現できます。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりにS映像端子をビデオのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。

MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

本機に付属のAV接続ケーブルには映像端子とS映像端子が装備されています。お使いになる機器にあわせて使用する端子を設定する必要があります。

映像端子を使用する場合は、メニューの  項目の「ビデオ入力」で「ビデオ」を選びます。

S映像端子を使用する場合は、メニューの  項目の「ビデオ入力」で「Sビデオ」を選びます。

お買い上げ時の設定は「ビデオ」になっています。

設定する必要がないときは、「録画する」（71ページ）から始めてください。

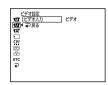
## 映像端子を選ぶ

**❶ 電源スイッチでビデオモードにする。**

**❷ 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**❸ 「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

**❹ [V] を選んで、決定または▶を押す。**

**❺ 「ビデオ入力」を選んで、決定または▶を押す。**

**❻ 「ビデオ」または「Sビデオ」を選んで、決定する。**

**❼ 画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。
もう1度画面表示ボタンを押すと、ビデオ操作ボタンが表示されます。

## 録画する

メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください（89ページ）。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

**❶ カセットを準備する。**

本機　：録画用カセットを入れる。

再生機：ビデオから録画するときは、録画済みのカセットを入れる。

**❷ 本機の電源スイッチでビデオモードにする。**

編集する

次のページへつづく

**ご注意**

手順5で、リモコンのメモリー再生ボタンを押すと、“メモリースティック”に記録された画像が表示されます。ここで「録画スタート」を選んで決定すると、“メモリースティック”に記録された画像がテープに記録されます。メモリー再生をやめるには、もう1度リモコンのメモリー再生ボタンを押してください。

### ❸ 「機能」を選んで、決定する。

ページ1画面が表示されます。

### ❹ 「ページ3」を選んで、決定する。

ページ3画面が表示されます。

### ❺ 本機を録画一時停止にする。

「録画そうさ」を選んで、決定してください。次に「録画ポーズ」を選んで、決定してください。

### ❻ 再生側のビデオを再生する。

ビデオの画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

### ❼ 録画したい場面で「録画スタート」を選んで、決定する。

録画が始まります。

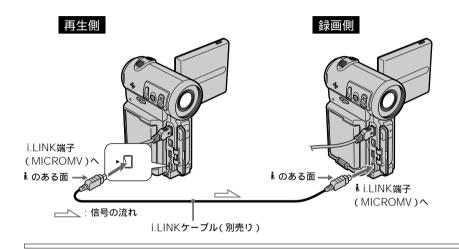
### ダビングが終わったら

■ を選んで、決定してください。本機の録画が停止します。次に再生機の再生を停止してください。

## i.LINKケーブルでつなぐ

本機とMICROMV方式対応のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（別売り）でつなぎ、本機で録画・編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

（本機と他のDV機器とを接続することはできません）

**ご注意**

- 本機で記録できない画像（DV方式で記録された画像など）が入力されたときは、「入力信号が違います」と表示されます。
- i.LINKケーブルで本機と接続できるのは1台だけです

**デジタルダビング編集中は**
モニター映像に色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

**再生一時停止にしている画像は**
i.LINK端子（MICROMV）を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

### ❶ カセットを準備する。

本機　：録画用カセットを入れる。

再生機：撮影済みのカセットを入れる。

### ❷ 本機の電源スイッチでビデオモードにする。

### ❸ 再生側のビデオ機器を再生一時停止にする。

再生機器の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

### ❹ 「機能」を選んで、決定する。

ページ1画面が表示されます。

### ❺ 「ページ3」を選んで、決定する。

ページ3画面が表示されます。



次のページへつづく

**ご注意**

再生機器を再生または再生一時停止状態にしてから、本機を録画または録画一時停止状態にしてください。本機に入力信号が無い状態で録画操作すると、「信号を入力してください」というメッセージが出て録画をすることができません。

**録画を始める前に**

液晶画面またはファインダーに「MPEG入力」の表示が出ているのを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

### ❻ 本機を録画一時停止にする。

「録画そうさ」を選んで、決定してください。次に「録画ポーズ」を選んで、決定してください。

### ❼ 再生側のビデオ機器を再生する。

### ❽ 録画を始めたい部分で「録画スタート」を選んで、決定する。

録画が始まります。

**ダビングが終わったら**

■ を選んで、決定してください。本機の録画が停止します。次に再生機での再生を停止してください。

# タイトルを入れる

撮影開始地点から約5秒間、タイトルを入れることができます（インデックスタイトラー機能）。再生すると、撮影開始地点から約5秒間タイトルが表示されます。

本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（80ページ）の中から選べます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

**誤消去防止状態のカセットには**
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

**オリジナルタイトルを入れるときは**
手順4で「」を選びます（80ページ）。

**テープの無記録部分には**
タイトルを入れられません。

**テープの途中に無記録部分があると**
タイトルが正しく表示されないことがあります。

**再生中にタイトルを出したくないときは**
メニューで「タイトル表示」を「切」にします。（89ページ）

## 撮影と同時にタイトルを入れる

**1** ［撮影スタンバイ中］のとき
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**2 「ページ2」を選んで、決定する。**

ページ2画面が表示されます。

**3 「タイトル」を選んで、決定する。**

タイトル画面が表示されます。

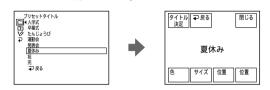
**4 「」を選んで、決定または▶を押す。**

**設定表示と表示順**
- 「色設定」
  しろ→きいろ→むらさき→あか→みずいろ→みどり→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい↔おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズ決定後、「ちいさい」サイズに戻ります。
- 「位置設定」
  「ちいさい」サイズは9段階、「おおきい」サイズは8段階から選べます。

**1つのカセットに記憶できるタイトルは**
最大12文字で20タイトルまでです。

**タイトルが20件入っていると**
「タイトルがいっぱいです」というお知らせメッセージが出ます。不要なタイトルを消してください。

## ❺ 入れたいタイトルを選んで、決定する。

タイトルが表示されます。

## ❻ 「色」または「サイズ」、「位置↓」、「位置↑」を選ぶ。次に決定ボタンを繰り返し押して、希望の色、サイズ、位置を選ぶ。

表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順7に進んでください。

## ❼ 「タイトル決定」を選んで、決定する。

タイトル打込み画面が表示されます。

## ❽ 「タイトル打込み」を選んで、決定する。

［打込みよやく］の表示が出ます。スタート／ストップボタンを押して撮影を始めると同時に［打込み中］の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶されます。

## 撮影したテープにタイトルを入れる

タイトルは、撮影開始点から5秒間記憶されます。

**❶ 電源スイッチでビデオモードにする。**

**❷ 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**❸ 「タイトル」を選んで、決定する。**

タイトル画面が表示されます。

**❹ 「タイトル入力」を選んで、決定する。**

タイトル入力画面が表示されます。

**❺ 「⬅」または「➡」を選んで、決定する。**

選んだ方向にスキャンが始まり、「➡」方向では左上から、「⬅」方向では右下からサムネイルが表示されます。

編集する

**オリジナルタイトルを入れるときは**
手順6で「[icon]」を選びます（80ページ）。

**ご注意**

- テープの状態によっては、サムネイルが表示されない場合がありますが故障ではありません。
- サムネイル画像にノイズが出ることがありますが、記録済みの画像には影響はありません。
- 手順8で再生画が表示されるまで、「タイトル打込み」はできません。

**❻ タイトルを入れたい場面のサムネイルを選んで、決定する。**

タイトル画面が表示されます。

**❼ 「撮影と同時にタイトルを入れる」（75ページ）の手順4〜6を行う。**

**❽ 「タイトル打込み」を選んで、決定する。**

「タイトル打込み中」表示が出ます。
約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶されます。

## タイトルを消す

**❶ 電源スイッチでカメラモードまたはビデオモードにする。**

**❷ 「機能」を選んで、決定する。**

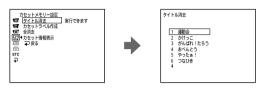
ページ1画面が表示されます。

**❸ 「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

**❹ [icon] の項目を選んで、決定または▶を押す。**

## ❺ 「タイトル消去」を選んで、決定する。

タイトル消去画面が表示されます。

（カメラモードのとき）

## ❻ 消したいタイトルを選んで、決定する。

「消去しますか？」の表示が出ます。

## ❼ 消去するタイトルを確認し、「実行」を選んで、決定する。

消去中は「消去中」の文字が点滅します。消去が終了すると、「完了」に変わります。

### 機能画面に戻る

手順7のあと、「C!!!」、「↩」の順に選んで、決定してください。「閉じる」を選んで、決定してください。

### タイトルの消去を中止する

手順6で「中止」を選んで、決定してください。

# オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類
まで本機に記憶できます。

**撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます**
作成中のタイトルは残っています。一度電源スイッチを「切（充電）」にして、手順1からやり直してください。
5分以上かかりそうなときはビデオモードでタイトルを作るかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

## カメラモードで作成する

**❶ 電源スイッチでカメラモードにする。**

**❷「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

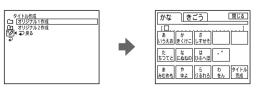
**❸「ページ2」を選んで、決定する。**

ページ2画面が表示されます。

**❹「タイトル」を選んで、決定する。**

プリセットタイトル画面が表示されます。

**❺「T✎」を選んで、決定または▶を押す。**

**❻「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選んで、決定する。**

**漢字変換機能はありません**
「きごう」にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。

**文字を消すとき**
「←」を選んで、決定すると、一番後ろの文字が消えます。

**空白を入れたいとき**
「→」を選んで、決定します。

**同じボタン内の文字を入れたいとき**
「→」を選んで、決定します。カーソルが移動します。それから文字を入れます。

**小さい「っ」などの文字を選ぶとき**
文字の含まれるボタンを繰り返し押してください。

## ❼ 入力する文字の種類を選ぶ。

「かな」：ひらがなを入力するとき
「きごう」：アルファベットや数字を入力するとき

「かな」を選んだとき

「きごう」を選んだとき

## ❽ 希望の文字列を選び、決定ボタンを繰り返し押して希望の文字を入力する。

1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを押す回数によって文字が切り換わります。

## ❾ 入力したい文字列を選んで、決定する。

カーソルが右に移動して、次の文字が入力されます。
手順7～9を繰り返して入力してください。

## ❿ 「タイトル完成」を選んで、決定する。

タイトルが記憶されます。

### 機能画面に戻る

手順10のあと、「⮐」を選んで、決定してください。ページ2画面に戻ります。次に、「閉じる」を選んで、決定してください。

#### 作成したタイトルを変更する

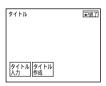
手順6で変更したいオリジナルタイトルを選んで、決定してください。それから文字を選び直してください。

## ビデオモードで作成する

❶ **電源スイッチでビデオモードにする。**

❷ **「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❸ **「タイトル」を選んで、決定する。**

タイトル画面が表示されます。

❹ **「タイトル作成」を選んで、決定する。**

タイトル作成画面が表示されます。

❺ **「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選んで、決定する。**

❻ **「カメラモードで作成する」(80ページ)の手順7〜9を行って、文字を入力する。**

❼ **「タイトル完成」を選んで、決定する。**

タイトルが記憶されます。

**機能画面に戻る**

手順7のあと、「戻る」を選んで、決定してください。タイトル画面に戻ります。「終了」を選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

# マイクロカセットメモリー

本機で使用しているマイクロカセットは、撮影状況や日付を自動で記憶します。また、カセットに16文字までの名前をつけることもできます（カセットラベル）。

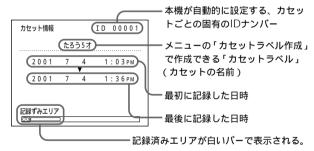
名前を付けたカセットを入れ、電源スイッチを入れると、付けた名前が自動的に約5秒表示されます。

**誤消去防止状態のカセットには**
名前をつけられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

**記録済みエリアは**
途中に無記録部分があっても、記録済みとして表示されます。

**カセット情報について**
メニューの 📼 項目の「カセット情報表示」で、カセット情報を出さない設定にすることができます。

**「カセットメモリーエラー」と表示されたときは**
カセットを取り出し、もう1度入れ直してください。さらにエラーが表示されたときは、カセットメモリーが壊れている可能性があります。カセットを交換してください。

## カセット情報

## カセットラベルを作成する

**❶ 名前を付けたいカセットを入れる。**

**❷ 電源スイッチでカメラモードまたはビデオモードにする。**

**❸ 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**漢字変換機能はありません**
［きごう］にある漢字以外を使うことはできません。

**文字を消すとき**
「←」を選んで、決定すると、一番後ろの文字が消えます。

**空白を入れたいとき**
「→」を選んで、決定します。

**同じボタン内の文字を入れたいとき**
「→」を選んで、決定します。カーソルが移動します。それから文字を入れます。

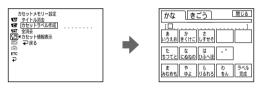
**小さい「っ」などの文字を選ぶとき**
文字の含まれるボタンを繰り返し押してください。

## ❹ 「メニュー」を選んで、決定する。

メニュー画面が表示されます。

## ❺ 項目を選んで、決定する。

## ❻ 「カセットラベル作成」を選んで、決定または▶を押す。

カセットラベル作成画面が表示されます。

## ❼ 入力する文字の種類を選ぶ。

「かな」：ひらがなを入力するとき
「きごう」：アルファベットや数字を入力するとき

「かな」を選んだとき

「きごう」を選んだとき

## ❽ 希望の文字列を選び、決定ボタンを繰り返し押して希望の文字を入力する。

1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを押す回数によって文字が切り換わります。

編集する

次のページへつづく

## ❾ 文字列を選んで、決定する。

カーソルが右に移動して、次の文字が入力されます。

手順7〜9を繰り返して2文字目以降を入力してください。

## ❿ 「ラベル完成」を選んで、決定する。

カセットラベルが記憶されます。

## ⓫ 画面表示ボタンを押す。

画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順10のあと、「」、「」の順に選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### 作成したカセットラベルを消す

手順8で「←」を選んで、決定してください。

### 作成したカセットラベルを変更する

カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直してください。

**ご注意**

マイクロカセットメモリーのデータをすべて消すと、次の操作ができなくなります。
– マルチ画面サーチ
– タイトルサーチ
– 日付サーチ
– フォトサーチ

**IDナンバーは**
消去できません。

## マイクロカセットメモリーのデータをすべて消去する

マイクロカセットメモリー内のすべてのデータ（タイトルデータ、日付データ、フォトデータ、サムネイル、カセット情報）を、一度に消去することができます。

**1 電源スイッチでカメラモードまたはビデオモードにする。**

**2 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

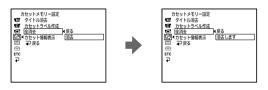
**3 「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

**4 の項目を選んで、決定する。**

**5 「全消去」を選んで、決定または▶を押す。**

**6 「実行できます」を選んで、決定する。**

**7 「消去」を選んで、決定する。**

**8 「消去します」を選んで、決定する。**

「消去中」が出ます。
全消去が完了すると「完了」が出ます。

次のページへつづく

**❾ 画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順8のあと、「CM」、「↩」の順に選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### 消去を中止する

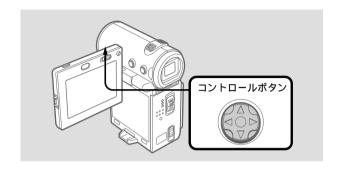
手順6または7で「戻る」を選んで、決定してください。

# メニューで設定を変える

画面上のメニュー項目をコントロールボタンで選んで、本機のお買い上げ時の設定を一部変更することができます。

次の順で選択します。
メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

**メニュー項目は**
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- マニュアル設定
- カメラ設定
- ビデオ設定
- パネル／VF設定
- メモリー設定
- カセットメモリー設定
- テープ設定
- 初期設定
- その他

**1** ［撮影スタンバイ中］または電源スイッチで、ビデオモード、メモリーモードにしたとき
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**2** **「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

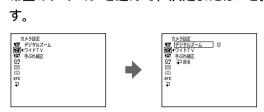
**撮影スタンバイ中のとき（「カメラ」のとき）**

**「ビデオ」のとき**

**「メモリー」のとき**



次のページへつづく

**❸ 希望のアイコンを選んで、決定または▶を押す。**

**❹ 希望の項目を選んで、決定または▶を押す。**

**❺ 設定を切り換え、決定する。**

**❻ 必要なだけ手順3〜5を繰り返す。**

手順3に戻るには、「↩ 戻る」を選んで、決定してください。

詳しくは「各設定項目の説明」（91ページ）をご覧ください。

### 画面表示を消すには

手順5のあとに画面表示ボタンを押してください。画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順5のあとに「↩」を選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

## 各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチで選んだモードによって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、そのときに使える項目のみ表示されます。

| アイコン／項目 | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチで選んだモード |
|---|---|---|---|
| M プログラムAE | — | 被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。（48ページ） | 「カメラ」「メモリー」 |
| ピクチャーエフェクト | — | 画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（43、56ページ） | 「カメラ」「ビデオ」 |
| ホワイトバランス | — | ホワイトバランスを調整する。（50ページ） | 「カメラ」「メモリー」 |
| オートシャッター | ● 入 | 明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。 | 「カメラ」 |
| | 切 | 明るいときでも、自動的に電子シャッターが働かない。 | |
| C デジタルズーム | ● 切 | デジタルズームが働かない。10倍までのズームが働く。 | 「カメラ」 |
| | 20× | ズームが10倍を超えると20倍までデジタルズームが働く。（26ページ） | |
| | 120× | ズームが10倍を超えると120倍までデジタルズームが働く。（26ページ） | |
| ワイドTV | ● 切 | ワイドTVモードにしない。 | 「カメラ」 |
| | 入 | ワイドTVモードにする。（39ページ） | |
| 手ぶれ補正 | ● 入 | 手ぶれ補正が働く。 | 「カメラ」 |
| | 切 | 手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。 | |
| V ビデオ入力 | ● ビデオ | AV接続ケーブルのビデオ端子を使って相手機から映像を入力する。 | 「ビデオ」 |
| | Sビデオ | AV接続ケーブルのSビデオ端子を使って相手機から映像を入力する。 | |

**手ぶれ補正は**
下記のとき、補正しきれなかったり、効きにくくなることがあります。
- 手ぶれが大きすぎるとき
- 暗いところで撮影しているとき
- 被写体と背景のコントラストが弱いとき
- 被写体が横縞だけのような模様のとき
- 動きのある被写体を撮影しているとき
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けているとき

**手ぶれ補正を解除すると**
本機を左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示が出ます。



次のページへつづく

| アイコン／項目 | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチで選んだモード |
|---|---|---|---|
| パネル色のこさ | — | 液晶画面の色のこさをコントロールボタンの◀/▶を押して、バーで調節する。<br>うすくなる　こくなる | 「カメラ」「ビデオ」「メモリー」 |
| VFバックライト | ● 明るさノーマル | ファインダーの明るさを標準にする。 | 「カメラ」「ビデオ」「メモリー」 |
| | 明るい | ファインダーを明るくする。 | |
| 静止画設定 | | | |
| 連写 | ● 切 | 連写しない。 | 「メモリー」 |
| | マルチ画面連写 | 9連写する。（104ページ） | |
| 画質 | ● ファイン | 高画質で静止画を記録する。 | 「ビデオ」「メモリー」 |
| | スタンダード | 標準の画質で静止画を記録する。 | |
| ムービー設定 | | | |
| 画像モード | ● スーパーファイン | 最高の画質で動画を記録する。 | 「ビデオ」「メモリー」 |
| | ファイン | 高画質で動画を記録する。 | |
| | スタンダード | 標準の画質で動画を記録する。 | |
| | ライトモード | 電子メール添付用などの動画を記録する。 | |
| スライドショー | — | スライドショーをする。（128ページ） | 「メモリー」 |
| 全消去 | — | プロテクトのかかっていないすべての画像を消去する。（133ページ） | 「メモリー」 |

**「VFバックライト」を「明るい」にすると**
撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。

**バッテリー以外の電源使用時は**
「VFバックライト」は自動的に「明るい」になります。

| アイコン／項目 | | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチで選んだモード |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| | フォーマット | ● 戻る | フォーマット（初期化）を中止する。 | 「メモリー」 |
| | | フォーマット | 本機に入れた“メモリースティック”をフォーマット（初期化）する。<br>1「フォーマット」の項目を選び、決定する。<br>2「フォーマット」を選び、決定する。<br>3「フォーマットします」を選び、決定する。<br>「フォーマット中」の表示が点滅する。「完了」と表示されると終了。 | |
| | オートフォトコピー | — | テープの静止画を“メモリースティック”にコピーする。（117ページ） | 「ビデオ」 |
| | タイトル消去 | — | タイトルを消去する。（78ページ） | 「カメラ」<br>「ビデオ」 |
| | タイトル表示 | ● 入 | タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。 | 「ビデオ」 |
| | | 切 | タイトルを出さない。 | |
| | カセットラベル作成 | — | カセットに名前を付ける。（84ページ） | 「カメラ」<br>「ビデオ」 |
| | 全消去 | — | マイクロカセットメモリーのデータをすべて消去する。（87ページ） | 「カメラ」<br>「ビデオ」 |
| | カセット情報表示 | ● 入 | 次のときにカセット情報を5秒間表示する。（84ページ）<br>• 電源とテープを入れたとき<br>• 電源スイッチでビデオモードにしたとき | 「カメラ」<br>「ビデオ」 |
| | | 切 | カセット情報を表示しない。 | |
| | テープ残量表示 | ● オート | 下記のときにテープ残量を表示する。<br>• 電源／テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。<br>• ►II を選んで、決定してから、または画面表示ボタンを押してから8秒間。<br>• 巻き戻し、早送り中 | 「ビデオ」<br>「カメラ」 |
| | | 入 | テープ残量を常に表示する。 | |

**フォーマットについて**
- 市販の“メモリースティック”はお買い上げ時にフォーマット（初期化）済みです。あらためてフォーマット（初期化）する必要はありません。
- 「フォーマット中」と表示されている間は電源スイッチを切り換えたりボタン操作をしないでください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、フォーマット（初期化）できません。
- 「メモリースティックフォーマットエラー」と表示された時は、フォーマット（初期化）してください。

**フォーマット（初期化）すると“メモリースティック”の記録内容は消去されます。**
画像にプロテクトをかけても消去されます。





次のページへつづく

# メニューで設定を変える（つづき）

| アイコン／項目 | | 設定 | 設定の意味（参照ページ） | 電源スイッチで選んだモード |
|---|---|---|---|---|
| （アイコン） | 日時あわせ | — | 日付・時刻を合わせる。（18ページ） | 「カメラ」「メモリー」 |
| | メニュー文字サイズ | ● ノーマル | 通常の大きさでメニューを表示する。 | 「カメラ」「ビデオ」「メモリー」 |
| | | 2× | 選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。 | |
| | デモモード | ● 入 | 本機の機能を一覧できる。 | 「カメラ」 |
| | | 切 | デモンストレーションを表示しない。 | |
| ETC | データコード（リモコン操作時） | ● 日付／カメラデータ | データコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。 | 「ビデオ」「メモリー」 |
| | | 日付データ | 日付・時刻を表示する。 | |
| | エリア設定 | — | 本機を海外で使用するときなど、使用する場所（エリア）が一時的に変わるときに設定する。（164ページ） | 「カメラ」「メモリー」 |
| | サマータイム | 切 | サマータイム中でないとき。 | 「カメラ」「メモリー」 |
| | | 入 | サマータイム中のとき。 | |
| | おしらせブザー | ● メロディー | 撮影スタート／ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。 | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| | | ノーマル | メロディーのかわりにブザーが鳴る。 | |
| | | 切 | メロディー、ブザー、シャッター音が鳴らない。 | |
| | リモコン | ● 入 | 付属のワイヤレスリモコンが働く。 | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| | | 切 | リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。 | |
| | 画面表示 | ● パネル | カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。 | 「ビデオ」「カメラ」「メモリー」 |
| | | ビデオ出力／パネル | テレビ画面にも画面表示を出す。 | |
| | 録画ランプ | ● 入 | 本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。 | 「カメラ」「メモリー」 |
| | | 切 | 本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。 | |

**デモモードは**
- カセットが入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。
  カセットを入れるか、電源スイッチでカメラモード以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切（充電）」にし、電源スイッチでカメラモードにします。

**ご注意**

「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

**メニュー項目は**
電源をはずしても設定を保持します。

**被写体に接近して撮るとき**
「録画ランプ」が「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、「録画ランプ」を「切」にすることをおすすめします。

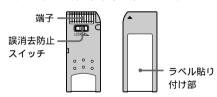
# “ メモリースティック ”を使う – はじめに

別売りの“ メモリースティック ”は、画像を記録し、見たい画像を簡単に再生するほか、以下のようなことができます。
– 画像をテープから“ メモリースティック ”へ取りこむ。
– 静止画を“ メモリースティック ”からテープへ取りこむ。
– 別売りのパソコン接続キットなどを使用し、パソコンに画像データを取りこむ。
– 画像の消去、プロテクト、プリントマーク操作。

**静止画の圧縮形式**（JPEG）
本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. jpg」です。

**動画の圧縮形式**（MPEG）
本機は、撮影した動画データをMPEG（Moving Picture Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. mpg」です。

**画像のデータファイル名**
静止画の場合
– 本機の画面表示：100-0001
– パソコンの画面表示：Dsc00001.jpg
動画の場合
– 本機の画面表示：MOV10001
– パソコンの画面表示：Mov10001.mpg

## “ メモリースティック ”について

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録、消去ができなくなります。
- モデルによっては、誤消去防止スイッチの位置や形状が異なる場合があります。
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック ”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。

## パソコンでフォーマット（初期化）した“ メモリースティック ”は

パソコン（Windows OS/Macintosh OS）でフォーマットした“ メモリースティック ”は、本機での動作を保証致しません。

## 画像の互換性について

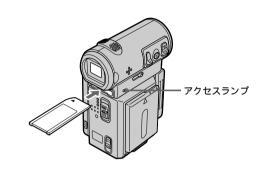
- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“ Design rules for Camera File systems ”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“ メモリースティック ”が本機で使えないときは、93ページの手順にしたがい本機でフォーマット（初期化）をしてください。
  フォーマットすると“ メモリースティック ”に記録してあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

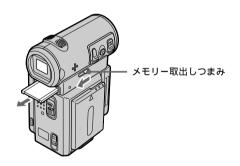
---

**アクセスランプ点灯中および点滅中は**
データの読み込み、または書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

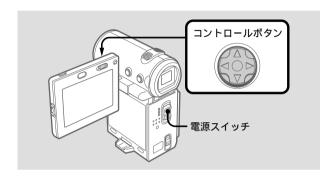
**「メモリースティックエラー」と表示されたときは**
“ メモリースティック ”を数回出し入れしてください。それでも表示が出るときは、“ メモリースティック ”が壊れている可能性があります。“ メモリースティック ”を交換してください。

## “ メモリースティック ”を入れる

“ メモリースティック ”を、▲マークを下の図のようにして奥まで押しこむ。

## “ メモリースティック ”を取り出す

メモリー取出しつまみを矢印の方向へずらす。

**選択できないボタンは**
グレー表示になります。

## 機能ボタンについて

操作に必要なボタンが液晶画面に表示されます。コントロールボタンを使って操作します。

### ❶ 電源スイッチでメモリーモードにする。

### ❷ 開くボタンを押して、液晶画面を開ける。

操作に必要なボタンが出ます。

メモリーカメラモード（静止画）のとき

メモリー再生モード（静止画）のとき

2つのモードは「再生」または「カメラ」を選んで、決定すると、切り換わります。



次のページへつづく

**「機能」を選んで、決定すると**
液晶画面に操作ボタンが現れます。

［メモリーカメラモード］
ページ1画面のとき
- 「メニュー」
- 「セルフタイマー」
- 「再生」
- 「インデックス」
- 「カメラ明るさ」
- 「フォーカス」

［メモリーカメラモード］
ページ2画面のとき
- 「パネル明るさ」
- 「再生」
- 「インデックス」

［メモリーカメラモード］
ページ3画面のとき
- 「音量」
- 「再生」
- 「インデックス」

［メモリー再生モード］
ページ1画面のとき
- 「メニュー」
- 「カメラ」
- 「インデックス」
- 「消去」
- 「＋」
- 「－」

［メモリー再生モード］
ページ2画面のとき
- 「パネル明るさ」
- 「カメラ」
- 「インデックス」
- 「再生ズーム」
- 「＋」
- 「－」

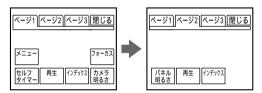
［メモリー再生モード］
ページ3画面のとき
- 「データコード」
- 「カメラ」
- 「インデックス」
- 「＋」
- 「－」

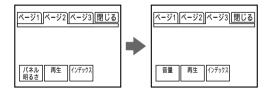
## ❸ 「機能」を選んで、決定する。

操作に必要なボタンが出ます。（ページ1画面）

メモリーカメラモードのとき

## ❹ 「ページ2」を選んで、決定する。

操作に必要なボタンが出ます。（ページ2画面）

## ❺ 「ページ3」を選んで、決定する。

操作に必要なボタンが出ます。（ページ3画面）

## ❻ 希望の項目を選んで、決定する。

詳しくは各機能の説明をご覧ください。

### 機能画面に戻る

「閉じる」を選んで、決定してください。

### 設定を決定する

「⮐ 決定」を選んで、決定してください。

**ご注意**

画像によっては、画質を変えても画質に差がないことがあります。

**画質の違いは**

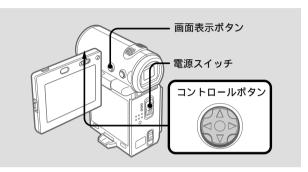
画像はJPEG方式で圧縮処理をしてから記録されます。記録されるときに割り当てられるメモリー容量は画質により、次のようになります。（画像サイズは、画質モードに関係なく640×480で、圧縮前のデータ量は約600Kバイトです。）

| | |
|---|---|
| ファイン | 約 100Kバイト |
| スタンダード | 約 60Kバイト |

**画質表示は**

再生時は表示されません。

## 静止画の画質を選ぶ

あらかじめ静止画記録時の画質を選んで記録できます。お買い上げ時は「ファイン」に設定されています。

❶ **電源スイッチでメモリーモードにする。**

❷ **「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❸ **「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

❹ **の項目を選んで、決定または▶を押す。**

❺ **「静止画設定」を選んで、決定または▶を押す。**

❻ **「画質」を選んで、決定または▶を押す。**



次のページへつづく

❼ **希望の画質を選んで、決定する。**

**画質について**

| 設定 | 表示 | 意味 |
|---|---|---|
| ファイン | FINE | 画質を優先するときに使います。約1/6に圧縮されます。 |
| スタンダード | STD | 標準の画質です。約1/10に圧縮されます。 |

❽ **画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順7のあと、「戻る」、「」の順に選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### 1枚の“ メモリースティック ”に記録できる静止画枚数の目安

画質の設定で撮影枚数が異なります。下の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる枚数です。

| 画質モード | “ メモリースティック ”容量 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 128 MB | 64 MB | 32 MB | 16 MB | 8 MB | 4 MB |
| ファイン | 約1310枚 | 約650枚 | 約325枚 | 約160枚 | 約80枚 | 約39枚 |
| スタンダード | 約1970枚 | 約980枚 | 約485枚 | 約240枚 | 約120枚 | 約58枚 |

（“ メモリースティック ”は別売り）

## 動画の画像モードを選ぶ

動画のモードには「スーパーファイン」と「ファイン」、「スタンダード」、「ライトモード」の4種類あります。お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。

❶ **電源スイッチでメモリーモードにする。**

❷ **「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

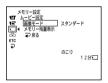
❸ **「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

❹ **の項目を選んで、決定または▶を押す。**

❺ **「ムービー設定」を選んで、決定または▶を押す。**

❻ **「画像モード」を選んで、決定または▶を押す。**

❼ **希望の画像モードを選んで、決定する。**

### 画像モードについて

| 設定 | 画サイズ | フレームレート | 転送レート（画像+音声） | 表示（記録時） |
|---|---|---|---|---|
| スーパーファイン | 352×240 | 30 fps | 1200 Kbps | SFN |
| ファイン | 352×240 | 30 fps | 750 Kbps | FINE |
| スタンダード | 144×96 | 10 fps | 400 Kbps | STD |
| ライトモード | 144×96 | 10 fps | 200 Kbps | LIGHT |



次のページへつづく

**スーパーファイン：**動画をもっともきれいに撮影できるモードです。画像をパソコンで加工したいときに適しています。お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。

**ファイン：**スーパーファインに比べて画質はやや劣りますが、より長い時間の動画が撮影できます。

**スタンダード：**画像サイズは小さくなりますが、ファインに比べて長い時間の動画が撮影できます。

**ライトモード：**電子メールに画像を添付するときなどに使います。画質はやや荒くなりますが、ファイルのサイズが小さいため、電子メールの送受信時にそれほど負荷がありません。

**フレームレートとは**

動画はたくさんの静止画を素早く入れ換えることで物体が動いているように見えます。フレームレートとは、1秒間に扱う静止画の数を表しています。数値が大きいほど、動画の動きはなめらかになります。本機では1秒間に最大30コマの静止画を扱うことができます。（30 fps/フレームパーセカンド）

**転送レートとは**

数字が大きいほど画像がきれいになります。

### 1回の撮影での動画の最大記録時間について

| 画像モード | 最大記録時間 |
|---|---|
| スーパーファイン | 45秒 |
| ファイン | 1分10秒 |
| スタンダード | 2分20秒 |
| ライトモード | 4分40秒 |

## 1枚の“ メモリースティック ”に記録できる動画の記録時間の目安

画像サイズの設定で撮影時間が異なります。下の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる時間です。

| 画質モード | “ メモリースティック ”容量 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 128 MB | 64 MB | 32 MB | 16 MB | 8 MB | 4 MB |
| スーパーファイン | 約13分 | 約6分 | 約3分 | 約1分 | 約45秒 | 約20秒 |
| ファイン | 約20分 | 約10分 | 約5分 | 約2分 | 約1分 | 約35秒 |
| スタンダード | 約41分 | 約20分 | 約10分 | 約5分 | 約2分 | 約1分 |
| ライトモード | 約82分 | 約41分 | 約20分 | 約10分 | 約5分 | 約2分 |

（“ メモリースティック ”は別売り）

# “ メモリースティック ”に静止画を撮る – メモリーフォト撮影

“ メモリースティック ”に静止画を記録できます。

9枚の静止画を連写することもできます。（マルチ画面連写）

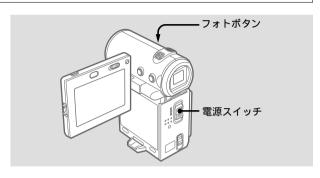
**電源スイッチでメモリーモードにすると**
以下の機能が使えません。
- ワイドTV
- デジタルズーム
- 手ぶれ補正
- フェーダー
- ピクチャーエフェクト
- デジタルエフェクト
- タイトル
- プログラムAEのキャンドル（表示が点滅します）

**静止画を記録中は**
電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。

**リモコンのフォトボタンを押すと**
押したときに映っている画像が記録されます。

**手順2でフォトボタンを軽く押すと**
画像が瞬間的にまたたきますが、異常ではありません。

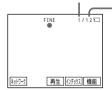
**撮影日時／カメラデータは**
画面には出ません。自動で“ メモリースティック ”上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押すと、見ることができます。また、本機で操作するときは、ページ3画面の「データコード」を選んで決定し、「カメラデータ」または「日付データ」を選んで決定すると見ることができます。（32ページ）

**撮影可能枚数は**
画質の設定および被写体の状況で異なります。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

## ❶ 電源スイッチでメモリーモードにする。

## ❷ フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

画像の明るさとフォーカスが固定され、撮影が可能になります。撮影するとき、明るさとフォーカスは画面の中央部分の被写体に合わせて調整されます。

撮影済み枚数

記録可能な枚数の目安

緑の●が点滅から点灯にかわり、撮影可能になります。

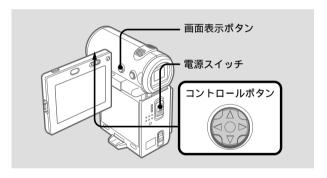
## ❸ フォトボタンを深く押す。

「カシャ」とシャッター音がして、画像が静止画になります。バーのスクロール表示が終わると、記録が完了します。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録されます。

## 連続して撮る（連写）

あらかじめ下記の設定をしてメモリーフォト撮影をすると、以下の連写ができます。

**マルチ画面連写**
約0.5秒間隔で9枚の静止画を連続して撮影し、9分割された1つの画面に表示します。（表示：▦）

**❶ 電源スイッチでメモリーモードにする。**

**❷ 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**❸ 「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

**❹ ▭ を選んで、決定または▶を押す。**

**❺ 「静止画設定」を選んで、決定または▶を押す。**

**❻ 「連写」を選んで、決定または▶を押す。**

**❼ 「マルチ画面連写」を選んで、決定する。**

**❽ 画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

### 機能画面に戻る

手順7のあと、「⮐ 戻る」、「⮐」の順に選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。「閉じる」を選んで、決定してください。

### “ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示され、メモリーフォト撮影はできません。

**ご注意**

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。

- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」にしたときまたは電源スイッチでビデオモードにしたとき。

**画像の確認**

本体のフォトボタンを軽く押して、画像を確認できます。深く押すとセルフタイマー撮影が始まります。

## セルフタイマーメモリーフォト撮影

セルフタイマーを使って“ メモリースティック ”に静止画を記録できます。リモコンも使えます。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードにする。**

❷ **「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❸ **「セルフタイマー」を選んで、決定する。**

ボタンの上に緑色のバーが表示され、セルフタイマー表示◌が出ます。

❹ **画面表示ボタンを押す。**

画面表示が消えます。

❺ **フォトボタンを深く押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影されます。

### セルフタイマーで“ メモリースティック ”に動画を撮るとき

手順5でスタート/ストップボタンを押してください。
撮影を終了するときは、もう1度スタート/ストップボタンを押してください。

### セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にページ1画面の「セルフタイマー」をもう1度選んで、決定してください。セルフタイマー表示◌が消えます。リモコンを使って撮影を中断することはできません。

# テープの画像を静止画として取りこむ

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

**アクセスランプ点灯中および点滅中は**
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

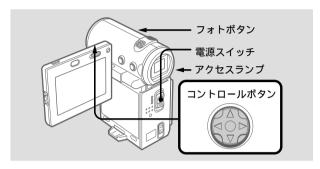
**画面に「メモリースティックを確認してください」と表示されたら**
フォーマットの形式が違うなど本機で認識できない“ メモリースティック ”を使用しています。フォーマット形式をご確認ください。

**再生中にフォトボタンを軽く押すと**
テープは一時停止します。

**テープに記録された音声は**
記録できません。

**タイトルは**
記録できません。フォトボタンを押して画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

**テープに記録されたデータコードは**
“ メモリースティック ”には記録できません。
“ メモリースティック ”に取りこんだ時の撮影日時を記録します。カメラデータは記録できません。

**リモコンのフォトボタンを押すと**
押したときに映っている画像が記録されます。

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**1 電源スイッチでビデオモードにする。**

**2 ▶ II を選んで、決定する。**

テープの画像が映ります。

**3 画像を取り込みたい部分でフォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。**

テープの画像が一時停止し、キャプチャー表示が出ます。このとき記録はされません。

**4 フォトボタンを深く押す。**

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了します。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録されます。テープの画像は再生に戻ります。

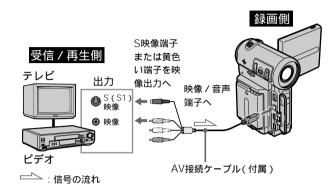
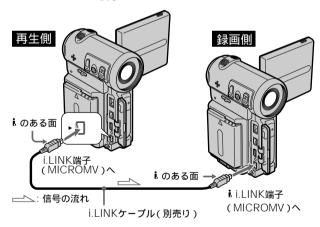
**ご注意**

次の場合、 表示が点滅します。"メモリースティック"を入れ直し、乱れのない画像を記録してください。
- ダビングを繰り返したなどで記録状態の悪いテープ

**S映像端子を使うと**

画像をより忠実に再現できます。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりにS映像端子をビデオのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。
MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

## 他機をつないで静止画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

i.LINKケーブルを使う

メニューで「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）

❶ **本機の電源スイッチでビデオモードにする。**

❷ **AV接続ケーブルを使用するときは、使用する映像端子を選ぶ（70ページ）。**

❸ **他機のビデオなどで再生を始める。**

他機の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

❹ 107**ページの手順**3〜4**を行う。**

# “ メモリースティック ”に動画を撮る – MPEGムービー撮影

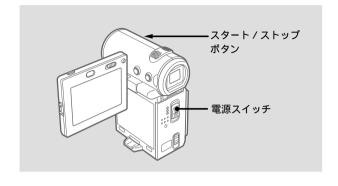
“ メモリースティック ”に音声つきで動画を
記録できます。

**ご注意**

音声はモノラルで記録されます。

**電源スイッチでメモリーモードにすると**
以下の機能が使えません。
- ワイドTV
- デジタルズーム
- 手ぶれ補正
- フェーダー
- ピクチャーエフェクト
- デジタルエフェクト
- タイトル
- プログラムAEのキャンドル（表示が点滅します）

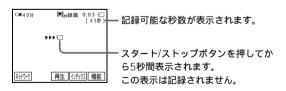
**撮影日時は**
“ メモリースティック ”上に記録されますが、画面には出ません。再生時にリモコンのデータコードボタンを押せば見ることができます。カメラデータは記録できません。

**撮影中は**
カセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声を記録しません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

## ❶ 電源スイッチでメモリーモードにする。

## ❷ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まり、録画ランプが点灯します。

| 画像モード | 録画時間 |
|---|---|
| スーパーファイン | 最大45秒 |
| ファイン | 最大1分10秒 |
| スタンダード | 最大2分20秒 |
| ライトモード | 最大4分40秒 |

### 撮影を中止する

スタート/ストップボタンを押してください。

# テープの画像を動画として取りこむ

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

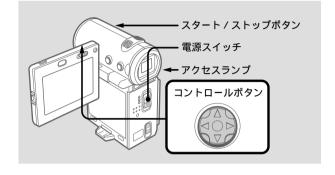
**ご注意**

ステレオで記録された音声はモノラルに変換されて記録されます。

**アクセスランプ点灯中および点滅中は**
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

**タイトルは**
記録できません。画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

**テープに記録されたデータコードは**
“ メモリースティック ”には記録できません。
“ メモリースティック ”に取り込んだときの撮影日時が記録されます。カメラデータは記録できません。

**記録中は**
ビデオ操作ボタンは働きません。

- 録画ずみのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

## ❶ 電源スイッチでビデオモードにする。

## ❷ ▶ II を選んで、決定する。

テープの画像が映ります。

## ❸ 取り込む画像の開始点でスタート/ストップボタンを押す。

| 画像モード | 録画時間 |
| --- | --- |
| スーパーファイン | 最大45秒 |
| ファイン | 最大1分10秒 |
| スタンダード | 最大2分20秒 |
| ライトモード | 最大4分40秒 |

### 撮影を中止する/終了する

スタート/ストップボタンを押してください。

“ メモリースティック ”を使う

**ご注意**

次の場合、⊠表示が点滅します。"メモリースティック"を入れ直し、乱れのない画像を記録してください。
- ダビングを繰り返したなどで記録状態の悪いテープ

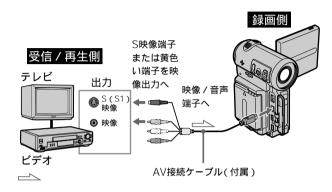
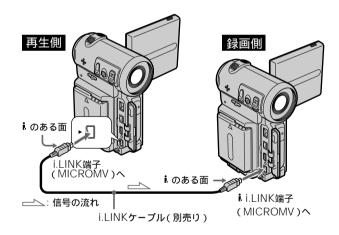
**S映像端子を使うと**

画像をより忠実に再現できます。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりにS映像端子をビデオのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。
MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

**撮影中は**

カセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声を記録しません。

## 他機をつないで動画を取りこむ

### AV接続ケーブルを使う

### i.LINKケーブルを使う

メニューで「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）

**❶ 本機の電源スイッチでビデオモードにする。**

**❷ AV接続ケーブルを使用するときは、使用する映像端子を選ぶ（70ページ）。**

❸ **他機のビデオなどで再生を始める。**

他機の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

❹ **画像を取りこみたい部分の開始点で、スタート/ストップボタンを押す。**

**記録を中止する/終了する**

スタート/ストップボタンを押してください。

# 静止画を重ねて撮る – メモリーミックス

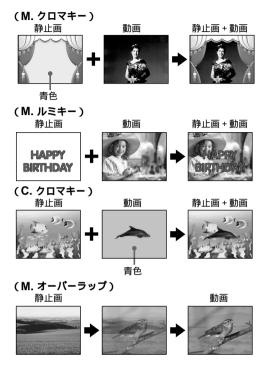
“ メモリースティック ”に記録してある静止画を、カメラで撮影している動画に重ねることができます。

重ねた画像はテープに記録できます。“ メモリースティック ”に記録することはできません。

**M. クロマキー**（メモリークロマキー）
イラストや枠などの静止画を使い、静止画の青色の部分を抜いて動画と重ねる。

**M. ルミキー**（メモリールミキー）
手書きイラストやタイトルなどの静止画を使い、静止画の明るい部分を抜いて動画に重ねる。旅行やイベントの前にあらかじめタイトルを“ メモリースティック ”に入れておくと便利です。

**C. クロマキー**（カメラクロマキー）
背景などの静止画に動きのある被写体を重ねる。（青色を背景に被写体を撮影し、青色の部分を抜く。）

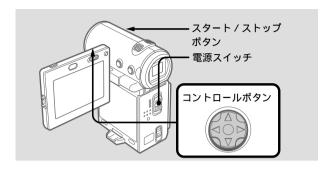
**M.オーバーラップ**（メモリーオーバーラップ）
“ メモリースティック ”に記録してある静止画から、カメラで撮影している動画にフェードインをする。

**ご注意**

- 動画ファイルを選ぶと、黒い小画面が現れます。メモリーミックスをすることはできません。
- 動画ファイルをメモリーミックスしようとすると、「メモリー上の動画はテープに記録できません」とメッセージが表示され、記録することができません。
- 重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。
- モードを選び直すことはできません。一度「↩ 切」を選んで決定して、ページ1画面まで戻ってください。

**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**

本機で再生できないことがあります。

**静止画をそのままテープに記録するには**

M. ルミキーモードで、画面左側の「ー」または「＋」を選んで、決定ボタンを繰り返し押して、バー表示を右側いっぱいまで増やします。

- あらかじめ静止画が記録された“ メモリースティック ”を入れておいてください。
- 記録用のテープを入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでカメラモードにする。**

**❷** ［撮影スタンバイ中］に
**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**❸ 「メモリーミックス」を選んで、決定する。**

最後に撮影した静止画、または最後に合成した静止画が画面の右下に出ます。

**❹ 画面右側の「ー」または「＋」を選んで、重ねたい静止画を選ぶ。**

ー：前の画像を出すとき
＋：次の画像を出すとき

“メモリースティック”を使う

次のページへつづく

**ご注意**

メモリーオーバーラップを選ぶと、静止画を選び直せません。手順7の前で一度「⮐ 切」を選んで、決定し、メモリーオーバーラップを解除してから選び直してください。

**手順9でフォトボタンを押すと**

テープに静止画を記録できます。

❺ **希望のモードを選んで、決定する。**

静止画が撮影スタンバイ中の動画と重なる。

❻ **画面左側の「－」または「＋」を選んで、決定ボタンを繰り返し押して効果を調節する。**

調節する内容は以下の通りです。

| | |
|---|---|
| M. クロマキー | 静止画の、青色の抜き具合。 |
| M. ルミキー | 静止画の、明るい部分の抜き具合。 |
| C. クロマキー | 動画の、青色の抜き具合。 |
| M. オーバーラップ | 調節の必要はありません。 |

バー表示を小さくするほど効果が大きくなります。

❼ **「⮐ 決定」を選んで、決定する。**

ページ1画面に戻ります。

❽ **「閉じる」を選んで、決定する。**

機能画面に戻ります。

❾ **スタート／ストップボタンを押して撮影を始める。**

**静止画を選び直す**

手順7の前で画面右側の「－」／「＋」を選んで、決定してください。

**メモリーミックスを解除する**

手順7の前で「⮐ 切」を選んで、決定してください。

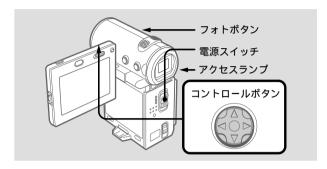
# テープの静止画を自動記録する – オートフォトコピー

サーチ機能を使って、テープに記録されている静止画のみを“ メモリースティック ”に順次取りこんで、記録できます。

**アクセスランプ点灯中および点滅中は**
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

**“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると**
「実行できません」と表示されます。

**ご注意**
下記のとき、「オートフォトコピー」を選ぶと、「実行できません」と表示されます。
- テープに静止画が記録されていない
- 現在のテープ位置より前に静止画が記録されている。

**オートフォトコピーは**
テープフォト撮影をするか、テープを巻き戻してから実行してください。

- 録画済みのテープを入れて、巻き戻しておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでビデオモードにする。**

**❷ 「機能」を選んで、決定する。**
ページ1画面が表示されます。

**❸ 「メニュー」を選んで、決定する。**
メニュー画面が表示されます。

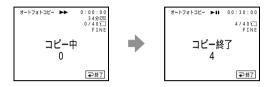
**❹ [メモリーカードアイコン] を選んで、決定または▶を押す。**

**❺ 「オートフォトコピー」を選んで、決定または▶を押す。**
「フォトボタンをおしてください」の表示が出ます。

次のページへつづく

**途中で“ メモリースティック ”を入れかえると**
前の“ メモリースティック ”に記録した画像データの続きの画像から記録し始めます。

## ❻ フォトボタンを深く押す。

テープの静止画が“ メモリースティック ”に記録されます。コピーされた静止画の数が表示され、コピーが終了すると、「コピー終了」の表示が出ます。

## ❼ 「⮐ 終了」を選んで、決定する。

ページ1画面に戻ります。

## ❽ 「閉じる」を選んで、決定する。

機能画面に戻ります。

### コピーを中止する／終了する

手順5で「⮐ 終了」を選んで、決定してください。

### “ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

「メモリーフル」と表示され、コピーは終了します。
「⮐ 終了」を選んで、決定してください。その後で“ メモリースティック ”を入れ換え、もう1度手順2から操作してください。

# 静止画を見る – メモリーフォト再生

“ メモリースティック ”に記録してある静止画を見ることができます。
また、インデックス表示をすると、データファイル順に動画も含めた画像を6枚ずつ表示できます。

**ご注意**

**メモリー再生した画像は**
- i.LINK端子（MICROMV）からは出力されません。
- i.LINKケーブルがつながれていると、映像／音声端子からも出力されません。

**データファイル名について**
- ディレクトリ構造がDCF規格に準拠していないと、ディレクトリ番号は表示されず、ファイル名のみ表示される場合があります。
- ディレクトリ構造がDCF規格に準拠していないと「メモリースティックディレクトリエラー」と表示されることがあります。このとき、再生は可能ですが、記録することはできません。
- データファイル名が点滅したときは、ファイルが壊れているか、本機で扱えないファイル形式です。

**テレビで見るときは**
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブル（35ページ）でつないでおいてください。
- テレビや液晶画面でメモリーフォト再生をすると、画質が劣化しているように見えることがありますが、故障ではありません。データ上は問題ありません。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**
正しく再生ができない場合があります。

**静止画は**
ページ1/ページ2/ページ3画面上でも、「–」/「+」を選んで、決定して選ぶことができます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードまたはビデオモードにする。**

**❷ メモリーモードのときは、「再生」を選んで、決定する。
ビデオモードのときは、「 再生」を選んで、決定する。**

最後に撮影した画像が出ます。

**❸ 「–」または「+」を選んで、決定して静止画を選ぶ。**

–：前の画像を見るとき
+：次の画像を見るとき

### メモリーフォト再生を止める

- メモリーモードのときは、「カメラ」を選んで、決定してください。
- ビデオモードのときは、「ビデオ」を選んで、決定してください。

“ メモリースティック ”を使う

## 静止画再生中の画面表示

**“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは**
「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

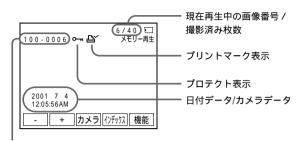
**撮影日時/カメラデータは**
ページ3画面の「データコード」を選んで、決定し、「カメラデータ」または「日付データ」を選んで決定すると、見ることができます。リモコンも使えます。(32ページ)

**画面表示を消すには**
画面表示ボタンを押します。

**ご注意**

インデックス表示をしているときの画像右上の番号は、“ メモリースティック ”の記録順を示す番号です。データファイル名（95ページ）とは違いますのでご注意ください。

**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**
インデックス表示ができない場合があります。

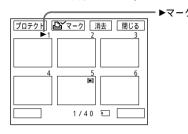
**▶マークは**
▶マークにカーソルを合わせると、▶マークが緑からオレンジに変わります。ただし、リモコンの「＋」または「−」ボタンで選択すると、▶マークは緑のままです。

## 画像を6枚ずつ表示する（インデックス表示）

撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。画像を検索するときなどに便利です。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードまたはビデオモードにする。**

**❷ メモリーモードのときは、手順3へ進む。ビデオモードのときは、「 再生」を選んで、決定する。**

## ❸ 「インデックス」を選んで、決定する。

インデックス表示をする前に映っていた画像にオレンジの▶マークが表示されます。

- 前の6枚を見るときは「←」を選んで、決定する。
- 次の6枚を見るときは「→」を選んで、決定する。

リモコンの「＋」、「－」または「⬅」、「➡」ボタンを使って、表示されている画像の前後の6枚を見ることができます。

### 機能画面に戻る

「閉じる」を選んで、決定してください。

### 1枚の表示（シングル表示）に戻す

表示したい画像に▶マークを合わせ、決定してください。
リモコンを使うときは、表示したい画像に▶マークを合わせ、「再生」を押してください。

# 動画を見る – MPEGムービー再生

“ メモリースティック ”に記録した動画を見ることができます。

また、インデックス表示をすると、データファイル順に静止画も含めた画像を6枚ずつ表示することができます。

**ご注意**

**本機で撮影したMPEGムービーは**
- MPEG MOVIE ADです。
- 他のデジタルスチルカメラ、デジタルビデオカメラレコーダーでは再生できません。
- i.LINK端子（MICROMV）から出力することはできません。

**テレビで見るときは**
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**
正しく再生ができない場合があります。このとき、音量＋、－は調節できません。

**“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは**
「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

**動画は**
ページ1/ページ2/ページ3画面上でも、「－」/「＋」を選んで、決定して選ぶことができます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードまたはビデオモードにする。**

**❷ メモリーモードのときは、「再生」を選んで、決定する。**
**ビデオモードのときは、「 再生」を選んで、決定する。**

最後に撮影した画像が出ます。

**❸ 「－」または「＋」を選んで動画を選ぶ。**

－：前の画像を見るとき
＋：次の画像を見るとき

**❹ 「MPEG▶❚❚」を選んで、決定する。**

再生が始まります。

**❺ 「音量－」/「音量＋」を選んで、決定する。**

決定ボタンを繰り返し押して、音量を調節してください。

－：小さくするとき
＋：大きくするとき

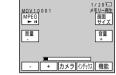
音量を下げるときは「音量－」を選んでコントロールボタンの◀を、音量を上げるときは「音量＋」を選んで▶を押しても調節できます。

### 再生を一時停止する

「MPEG▶❚❚」を選んで、決定してください。もう1度押すと、再生が始まります。

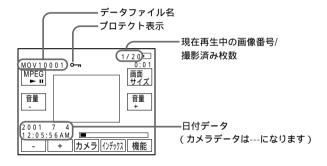
**画面サイズについて**
ファイルによっては、画面が中央に表示されなかったり、画面サイズを切り換えたときに液晶画面いっぱいに表示されない場合があります。

## 画面サイズを切り換える

「画面サイズ」を選んで、決定してください。画面サイズが下記のように切り換わります。

**撮影日時は**
ページ3画面の「データコード」を選んで、決定すると、見ることができます。カメラデータは記録されません。リモコンも使えます。(32ページ)

**画面表示を消すには**
画面表示ボタンを押します。

## 動画再生中の画面表示

---

### パソコンの推奨使用環境 (動画再生時)

**推奨Windows環境**

OS： Windows 95、Windows 98、Windows NT 3.51以降
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

* Windows 3.1ではMPEGファイルを扱うことができません。

アプリケーション： InternetExplorer 4.0以降 (Windows 98以降は標準で装備されています)
Windows Media Player (Active Movie Player) がインストールされていることが必要です。

**推奨Macintosh環境**

CPU：PowerPC
OS：Mac OS 7.6.1以降
アプリケーション： QuickTime 3.0以降

* QuickTimeを使用するときに必要なマシン環境について詳しくは、AppleのWebサイトをご覧ください。

# “ メモリースティック ”に撮った静止画をテープにダビングする

あらかじめ“ メモリースティック ”に記録した静止画やタイトルなどをテープにダビングできます。（リモコンでも操作できます。）

**ご注意**

- MPEGムービー撮影した画像はダビングできません。
- インデックス画面はダビングできません。

**パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは**
ダビングできないことがあります。

- 記録用のテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでビデオモードにする。**

**❷ ダビングしたい場所を探し、テープを停止する。**

**❸ 「 再生」を選んで、決定し、ダビングしたい静止画を再生する。**

「＋」または「－」を使って静止画を選びます。

**❹ 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

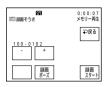
**❺ 「ページ3」を選んで、決定する。**

ページ3画面が表示されます。

**❻ 「録画そうさ」を選んで、決定する。**

録画そうさ画面が表示されます。

## ❼ 「録画スタート」を選んで、決定する。

テープのダビングが始まります。
止めたいところで「録画ポーズ」を選んで決定します。

## ❽ 他にもダビングする場合は、「+」または「−」ボタンで静止画を選んで手順7を行ってください。

### ダビングを終了するときは

［■］を選んで決定する、またはリモコンの停止ボタンを押す。

### リモコンを使ってダビングするときは

手順3の後で、リモコンの録画ー□ボタンを押すと、ダビングすることができます。

# “ メモリースティック ”に撮った静止画を拡大する – メモリー再生ズーム

“ メモリースティック ”に記録した静止画を
拡大して見ることができます。

**ご注意**

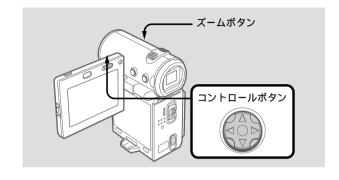
再生ズームで拡大した画像を“ メモリースティック ”に記録することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

**再生ズームの画像は**
i.LINK端子（MICROMV）から出力することはできません。

**再生ズーム中に**
画面表示ボタンを押すと画面上の表示を消すことができます。

**画像の周辺部分は**
拡大することはできますが、画面の中心には移動しません。

MPEG**ムービー撮影した画像は**
再生ズームはできません。

**ビデオモードでメモリー再生中は**
再生ズームはできません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ メモリーモードで［メモリー再生中］に**「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

❷ **「ページ2」を選んで、決定する。**

ページ2画面が表示されます。

❸ **「再生ズーム」を選んで、決定する。**

再生ズーム画面が表示されます。

❹ **ズームボタンを動かして、お好みの大きさにする。**

ズームは2倍、3倍、4倍、5倍のうちから選べます。

### ❺ 拡大部分を選ぶ。

▲：画像の上部を見たいとき

▼：画像の下部を見たいとき

◀：画像の左部を見たいとき

▶：画像の右部を見たいとき

**メモリー再生ズームを解除する**

決定ボタンを押してください。

# 画像を順番に自動再生する – スライドショー

画像を順番に自動再生します。
記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードにする。**

**❷ 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**❸ 「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

**❹ ▭ を選んで、決定または▶を押す。**

**❺ 「スライドショー」を選んで、決定または▶を押す。**

**❻ 「スタート」を選んで、決定する。**

“ メモリースティック ”の画像が順番に再生されます。

### スライドショーを中止する

「↩ 終了」を選んで、決定してください。

### スライドショーを一時停止する

「ポーズ」を選んで、決定してください。

**テレビで見るときは**
あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブル（35ページ）でつないでください。

**設定中に“ メモリースティック ”を入れ換えると**
スライドショーは動作しません。“ メモリースティック ”を入れ換えたら、始めから操作し直してください。

**画面表示を消してスライドショーを見るには**
手順5のあとに画面表示ボタンを押して表示を消してください。表示を消したままでも、リモコンのメモリー再生ボタンで一時停止／スタートすることができます。
終了するときは、もう1度画面表示ボタンを押して、「↩ 終了」を選んでください。

**“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは**
「ファイルがありません」というメッセージが表示されます。

### 機能画面に戻る

「⮐ 終了」を選んで、決定してください。ページ1画面に戻ります。そのあと「閉じる」を選んで、決定してください。

### お好みの画像からスライドショーを始める

手順5の前に「−」または「+」を選んで、決定し、最初の画像を選んでおいてください。

# 大事な画像を残す – プロテクト

大事な画像を誤って消さないために、撮影した画像を選んで誤消去防止（プロテクト）指定ができます。

**ご注意**

画像にプロテクトがかかっていても“ メモリースティック ”をフォーマットすると“ メモリースティック ”の内容はすべて失われます。フォーマットする前に内容を確認してください。

**“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると**
プロテクトは実行できません。

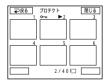
あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードまたはビデオモードにする。**

**❷ メモリーモードのときは、手順3へ進む。ビデオモードのときは、「 再生」を選んで、決定する。**

**❸ 「インデックス」を選んで、決定する。**
インデックス画面が表示されます。

**❹ 「プロテクト」を選んで、決定する。**
プロテクト画面が表示されます。

**❺ プロテクトしたい画像に▶マークを合わせ、決定する。**
プロテクトされた画像に「O‐ₙ」マークが表示されます。

**❻ 手順5を繰り返して、その他のプロテクトしたい画像を選ぶ。**

### 機能画面に戻る

「閉じる」を選んで、決定してください。

### プロテクトを解除する

手順5でプロテクトを解除する画像をもう1度選んで、決定してください。解除された画像からは「O‐ₙ」マークが消えます。

# 画像を消す – 消去

不要になった画像を消去できます。
撮影したすべての画像を消去したり、画像を選んで消去したりできます。

**ご注意**

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。

**“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると**
消去は実行できません。

## シングル画面表示のとき

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**1 電源スイッチでメモリーモードまたはビデオモードにする。**

**2 メモリーモードのときは、「再生」を選んで、決定する。**
**ビデオモードのときは、「 再生」を選んで、決定する。**

画像が再生されます。
「–」または「+」で消去したい画像を選んでください。

**3 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**4 「消去」を選んで、決定する。**

「消去しますか？」の表示が出ます。

**5 「実行」を選んで、決定する。**

画像が消去されます。

### 機能画面に戻る

手順5のあとに「閉じる」を選んで、決定してください。

### 画像の消去を中止する

手順5で「中止」を選んで、決定してください。

“メモリースティック”を使う

## インデックス表示のとき

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードまたはビデオモードにする。**

**❷ メモリーモードのときは、手順3へ進む。ビデオモードのときは、「 再生」を選んで、決定する。**

**❸ 「インデックス」を選んで、決定する。**

インデックス画面が表示されます。

**❹ 「消去」を選んで、決定する。**

消去画面が表示されます。

**❺ 消去したい画像に▶マークを合わせ、決定する。**

消去する画像の番号が反転します。

**❻ 手順5を繰り返して、その他の消去したい画像を選ぶ。**

**❼ 画像を選び終わったら、「決定」を選んで、決定する。**

「消去しますか？」の表示が出ます。

**❽ 「実行」を選んで、決定する。**

「消去中」という表示が出ます。消去が完了すると、インデックス画面に戻ります。

### 機能画面に戻る

手順8のあとに「閉じる」を選んで、決定してください。

### 画像の消去を中止する

手順8で「中止」を選んで、決定してください。

**「消去中」と表示されているときは**

電源スイッチを切り換えたり、ボタン操作を行わないでください。

## すべての画像を消去する

プロテクトのかかっていない画像ファイルをすべて消去します。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードにする。**

**❷ 「機能」を選んで、決定する。**

ページ1画面が表示されます。

**❸ 「メニュー」を選んで、決定する。**

メニュー画面が表示されます。

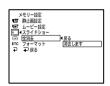
**❹ ▭ を選んで、決定または▶を押す。**

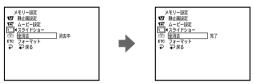


次のページへつづく

### ❺ 「全消去」を選んで、決定または▶を押す。

### ❻ 「消去」を選んで、決定する。

「消去」が「消去します」の表示に変わります。

### ❼ 「消去します」を選んで、決定する。

「消去中」と表示され、プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、「完了」と表示されます。

### ❽ 画面表示ボタンを押す。

画面表示が消えます。

#### 機能画面に戻る

「⮐ 戻る」、「⮐」を選んで、決定してください。

#### 全消去を中止する

手順5または6で「戻る」を選んで、決定してください。

# プリントマークを付ける – プリントマーク

“ メモリースティック ”に撮影した静止画の中からプリントしたい画像を直接指定して、マークを付けることができます。後でプリントするときに便利です。

本機はプリントしたい画像を選択できるDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。

**“ メモリースティック ”の誤消去防止つまみが「LOCK」になっていると**
プリントマークは実行できません。

**動画には**
プリントマークを付けることができません。

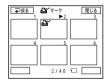
あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

**❶ 電源スイッチでメモリーモードまたはビデオモードにする。**

**❷ メモリーモードのときは、手順3へ進む。ビデオモードのときは、「 再生」を選んで、決定する。**

**❸ 「インデックス」を選んで、決定する。**
インデックス画面が表示されます。

**❹ 「 マーク」を選んで、決定する。**
 マーク画面が表示されます。

**❺ プリントマークを付ける画像に▶マークを合わせて、決定する。**
 マークが出ます。

**❻ 手順5を繰り返して、その他のプリントマークを付ける画像を選ぶ。**

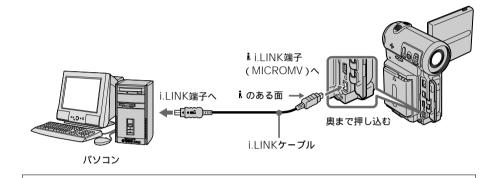
**❼ プリントマークを付け終わったら、「閉じる」を選んで、決定する。**
機能画面に戻ります。

### プリントマークを解除する

手順5でマークを解除する画像をもう1度選んで、決定してください。解除された画像からは🖨✓マークが消えます。

# パソコンでテープの画像を見る

パソコンを使って、本機で記録したテープの画像を見たり、編集したりすることができます。また、パソコンで編集した画像をMICROMVテープに戻すことも可能です。

パソコンでテープの画像を見るには、別売りのソフトウェアMovieShaker（ムービーシェーカー）Ver. 3.1 for MICROMVとi.LINKケーブルが必要です。

**ご注意**

パソコンでテープの画像を見るには、あらかじめi.LINKドライバ、およびアプリケーションソフトのインストールが必要です。これらは、別売りのソフトウェアMovieShaker Ver. 3.1 for MICROMVに入っています。
i.LINK**ドライバ、およびアプリケーションソフトのインストールが完了するまで、本機とパソコンを絶対に接続しないでください。**インストール方法やi.LINK接続についての詳細は、別売りのソフトウェアMovieShaker Ver. 3.1 for MICROMVに付属の取扱説明書を必ずご覧ください。

### パソコンの推奨使用環境

**必要なシステム**

OS：Windows MillenniumEdition、Windows 2000 Professional、Windows XP Home/Professional（対応予定）
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
* アップグレード環境での動作保証は致しません。

CPU：Pentium III 600 MHz以上必要
Pentium III 800 MHz以上推奨

メインメモリー：128 MB以上必要
256 MB以上推奨

ディスプレイ：800×600以上または1024×480以上、表示色16 bitカラー以上

ハードディスク：空き容量100 MB（インストール）、ATA66以上の速度（キャプチャ時必要）

i.LINK（IEEE1394）端子が装備されていること。

**ご注意**

推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

製品のアップグレードおよびソフトウェアの最新情報については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-di

# パソコンで“メモリースティック”の画像を見る

パソコンで画像を見るには、別売りのパソコン接続キットDPCK-US10Aが必要です。
“メモリースティック”に記録した画像をパソコンで見ることができます。

**ご注意**

“メモリースティック”に記録した画像は、以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式の対応アプリケーションがパソコンにインストールされていることをご確認ください。
– 静止画：JPEG形式
– 動画/音声：MPEG形式

## パソコンの推奨使用環境

**推奨Windows環境**

OS： Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。
CPU： MMX Pentium 200 MHz以上。
USB端子が標準で装備されていることが必要です。
Windows Media Playerがインストールされていること。（動画再生時）

**推奨Macintosh環境**

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1、Mac OS Xが工場出荷時にインストールされているMacintosh。ただし、Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされている“CD-ROMドライブがスロットローディング方式のiMac”、“iBook”、“Power Mac G4”はMac OS 9.0/9.1にアップグレードしてご使用ください。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。
Quick Time 3.0以降がインストールされていること。（動画再生時）

**ご注意**

- Windows環境/Macintosh環境とも、1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をする場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

**ご注意**

USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが誤って登録されます。140ページの手順に従って、もう一度インストールしてください。

## USBドライバをインストールする

本機をパソコンに接続するには、お手持ちのパソコンにUSBドライバがインストールされている必要があります。USBドライバは、パソコン接続キット（DPCK-US10A）（別売り）に付属しているCD-ROMに、画像を見るためのアプリケーションソフトとともに収録されています。

USBドライバのインストールが完了するまでは、パソコンにUSBケーブルを接続しないでください。

### Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professionalをお使いの場合

1. **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

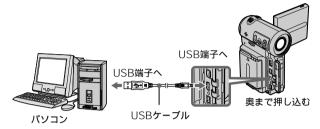
2. **パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**

   アプリケーションソフトの画面が起動します。

3. **CD-ROMに入っているアプリケーションソフトの画面が起動したら、「USB Driver Installation for Windows98/98SE/Me and Windows2000」をクリックする。**

   USBドライバのインストール画面が起動します。

4. **画面の指示に従ってUSBドライバをインストールする。**

**❺ パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

**ご注意**

“ メモリースティック ”が入っていないと、インストールできません。
必ず本機に“ メモリースティック ”を入れてください。

**❻ 本機に“ メモリースティック ”を入れ、ACアダプター/チャージャーを接続して本機の電源スイッチでメモリーモードにする。**

本機の液晶画面に「USB モード」と表示され、パソコンからの通信が始まります。パソコンが本機を確認し、Windowsのドライバをインストールします。

**❼ 画面の指示に従ってハードウェアを認識させる。**

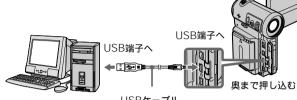
2種類のUSBドライバをインストールするため、ハードウェア追加ウィザードは2回起動します。途中で中断せずに最後までインストールしてください。

### USB接続ができない場合

USBドライバのインストールが完了する前に本機とパソコンを接続したためUSBドライバが誤って登録されています。正しくインストールするためには、以下の手順を行ってください。

**手順1：誤って登録されたUSBドライバをアンインストールする**

**1** パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

**2** パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。

**3** 本機に“メモリースティック”を入れ、ACパワーアダプター／チャージャーを接続して本機の電源スイッチでメモリーモードにする。

**4** パソコンの「デバイスマネージャ」を開く。
Windows 2000 Professionalをお使いの場合：
「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ハードウエア」タブを開き、「デバイスマネージャー」ボタンをクリックする
上記OS以外：
「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」を選択し、「デバイスマネージャー」をクリックする

**5** 「その他のデバイス」を選択する。
（？）マークが付いた機器を選択して削除します
例：（？）Sony Handycam

**6** 本機の電源を切り、USBケーブルを抜く。

**7** パソコンを再起動する。

### 手順2：付属のCD-ROMよりUSBドライバをインストールする

139ページの「USBドライバをインストールする」の手順を行ってください。

Mac OS 9.1、Mac OS X は
USBドライバのインストールは必要ありません。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、ドライブとして認識します。

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0をお使いの場合

❶ **パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。**

❷ **パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**

❸ **CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。**

❹ **OSの入っているハードディスクのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。**

❺ **手順3で開いたウィンドウから、以下の2つのファイルを、手順4で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動する（ドラッグ・アンド・ドロップする）。**

- Sony Camcorder USB Driver
- Sony Camcorder USB Shim

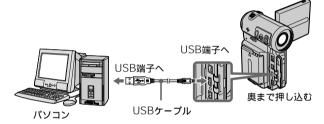
❻ **「機能拡張フォルダに入れますか？」と表示されたら「OK」を選択する。**

❼ **パソコンを再起動する。**

## 画像を見る

Windowsをお使いの場合

❶ **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

❷ **パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

❸ **本機に“ メモリースティック ”を入れ、ACアダプター/チャージャーを接続する。**

❹ **本機の電源スイッチでメモリーモードにする。**

本機の液晶画面に「USB モード」と表示されます。

❺ **Windows 上で「マイコンピュータ」を開き、新しく認識されたドライブ（例：「リムーバブルディスク（E:)」）をダブルクリックする。**

“ メモリースティック ”内のフォルダが表示されます。

パソコンと接続する

**❻ 見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。**

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名」（146ページ）をご覧ください。
ネットワーク機能を使って保存されたファイルについては、別冊のネットワーク機能取扱説明書をご覧ください。

| 再生したいファイル | この順でダブルクリックする |
|---|---|
| 静止画/動画* | 「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル |

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをお勧めします。“ メモリースティック ”から直接再生すると、画像/音声がとぎれることがあります。

## USBケーブルを抜く/“ メモリースティック ”を取り出す

**Windows 2000 Professional/Windows Meをお使いの場合**

USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出すには、以下の操作が必要です。

**❶ タスクトレイの中の「ハードウェアの取り外し」アイコンより該当するドライブを停止する。**

**❷ 「安全に取り外すことができる」とメッセージが出てから、USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出す。**

Macintoshをお使いの場合

❶ **ソフトウェアを閉じる。**

アクセスランプが点灯していないことを確認する。

❷ **“ メモリースティック ”アイコンをごみ箱に捨てる、または「特別」メニューから「取り出し」を選択する。**

❸ **“ メモリースティック ”を取り出す。**

## パソコンを使用するときのご注意

**“ メモリースティック ”**

- パソコンでフォーマットした“ メモリースティック ”を本機に使用した場合や、USB接続時に本機内の“ メモリースティック ”をパソコンからフォーマットした場合は動作保証致しません。
- Windowsで“ メモリースティック ”の最適化はしないでください。“ メモリースティック ”の寿命を縮めます。
- “ メモリースティック ”内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

**ソフトウェア**

- アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- レタッチソフトなどを使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合、または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。

**パソコンとの通信**

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

**ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合**

パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMに収録されている画像処理ソフト使用時、ソフトが強制終了されることがあります。また、MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることもあります。その際は下記のホームページで最新ドライバー［Sony MPEG Decoder］を入手してご使用ください。

http://www.vaio.sony.co.jp

アップデートプログラムから［Sony MPEG Decoder］を選び、ダウンロードする。

## 画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。

ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。

**Windows Meで見たときの例**
**（本機が認識されたドライブは（E:））**

デスクトップ
マイ ドキュメント
マイ コンピュータ
3.5 インチ FD (A:)
ローカル ディスク (C:)
CD-ROM (D:)
リムーバブル ディスク (E:)
Dcim
100msdcf

静止画、動画データが入っているフォルダ

| フォルダ名 | ファイル名 | 意味 |
|---|---|---|
| 100msdcf | Dsc0□□□□.jpg | 静止画ファイル |
| | Mov1□□□□.mpg | 動画ファイル |

# ネットワークにアクセスする

本機に対応したBluetooth機能搭載機器を使って、インターネットに接続することができます。Web上の専用アルバムを使用したり、ホームページを見たり、電子メールの送受信などができます。

ここでは、ネットワークメニューを表示する手順のみを説明します。詳しくは、別冊のネットワーク機能取扱説明書をご覧ください。

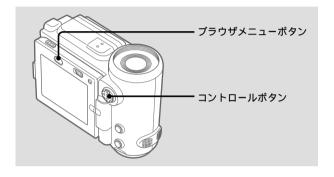
**商標について**

- BLUETOOTH™は、商標権利者が所有しており、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークはすべてについては明記していません。

**ネットワーク機として使用しているときは**

両手で持って使用してください。

**ご注意**

ご使用中、▼BATT（バッテリー取りはずし）つまみに触れないようにご注意ください。バッテリーがはずれることがあります。

**❶ 電源スイッチでメモリー/ネットワークモードにする。**

**❷「ネットワーク」を選んで、決定する。**

ネットワークメニューが表示され、Bluetoothランプが点灯します。

ネットワーク機能を使って電子メールを送信するときに、本機で“メモリースティック”に記録した画像を添付して送ることができます。1通のメールにつき、添付できるファイルの容量は3 MBまでです。動画を添付する場合、画像モードによって添付することのできる記録時間が異なります。
詳しくは、下記の表をご覧ください。

| 画像モード | スーパーファイン | ファイン | スタンダード | ライトモード |
|---|---|---|---|---|
| 1メール送信可能時間 | 17秒 | 29秒 | 58秒 | 119秒 |

# 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。155ページをご覧ください。

## 撮影中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
| --- | --- | --- | --- |
| **スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。** | •カメラモードになっていない。 | •カメラモードにする。 | 22 |
| | •テープが終わりになっている。 | •巻き戻すか、新しいカセットを入れる。 | 21､34 |
| | •カセットが誤消去防止状態になっている。 | •誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいカセットを入れる。 | 21 |
| | •テープがヘッドドラムに貼りついている（結露）。 | •カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 166 |
| **電源が途中で切れる。** | •撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。 | •電源スイッチを「切（充電）」にしてから、もう1度電源を入れる。 | ― |
| | •バッテリーが消耗している。 | •満充電されたバッテリーを取りつける。 | 14､16 |
| **ファインダーの画像がはっきりしない。** | •ファインダーを縮めたままにしている。 | •ファインダーをのばす。 | 26 |
| | •視度調節が正しくない。 | •視度調節する。 | 26 |
| **手ぶれ補正が働かない。** | メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。 | 「入」にする。 | 89 |
| **オートフォーカスが働かない。** | •手動ピント合わせになっている。 | •自動調節にする。 | 54 |
| | •オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。 | •手動でピントを合わせて撮影する。 | 54 |
| **ファインダーの画像が消えている。** | 液晶画面が開いている。 | 液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。 | 24 |
| **ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。** | 背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。 | ― | ― |
| **明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。** | スミア現象といい、故障ではありません。 | ― | ― |

## 撮影中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **画面に白点が出ることがある。** | スローシャッターやキャンドルのときに出る現象で、故障ではありません。 | ー | ー |
| **見慣れない画面が現れる。** | カセットを入れずに電源スイッチでカメラモードにして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。 | カセットを入れるか電源スイッチを切り換えるとデモンストレーションが中断される。<br>デモンストレーションが出ないようにすることもできます。 | 94 |
| **画面が白すぎて画像が見えない。** | 逆光補正が働いている。 | 解除する。 | 27 |
| **シャッター音が出ない。** | メニューの「お知らせブザー」が「切」になっている。 | 「お知らせブザー」を「メロディー」または「ノーマル」にする。 | 89 |
| **テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。** | ー | メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。 | 89 |

## 再生中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **再生できない。** | テープが終わりになっている。 | テープを巻き戻す。 | 34 |
| **画像に横線が入る。またはぼけたり映らなかったりする。** | ビデオヘッドが汚れている。 | クリーニングカセットできれいにする。 | 165 |
| **音声が小さい。または聞こえない。** | 音量を最小にしている。 | 音量を大きくする。 | 31 |
| **マルチ画面サーチ、タイトルサーチ、日付サーチ、フォトサーチができない。** | テープの始めや途中に無記録部分がある。 | ー | 60、62、64、66 |

# 故障かな？と思ったら（つづき）

## 再生中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **タイトルが出ない。** | •メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。<br>•画面表示が出ている。 | •「入」にする。<br>•画面表示を消す。 | 89<br>32 |
| **AV接続ケーブルを使ってダビングができない。** | メニューの「ビデオ入力」の設定が正しくない。 | 正しく設定する。 | 89 |
| **再生中、画像が約1秒程度静止する。** | 撮影のつなぎ目を再生すると、画像が約1秒程度静止します。故障ではありません。 | － | － |

## 撮影中・再生中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **電源スイッチでモードを切り換えても動作しない。** | •バッテリーが消耗している／消耗が近い／取り付けられていない。<br>•ACアダプター／チャージャーのプラグがコンセントからはずれている。 | •充電されたバッテリーを取り付ける。<br>•コンセントに差し込む。 | 14、16<br>17 |
| **バッテリーの消耗が早い。** | •周囲の温度が極端に低い。<br>•充電が不充分。<br>•バッテリーそのものの寿命。 | －<br>•満充電する。<br>•新しいバッテリーに交換する。 | －<br>14<br>16 |
| **バッテリー残量が正しくない。** | •温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。<br>•バッテリーそのものの寿命。<br>•バッテリーが消耗している。<br>•残量表示にズレが生じた。 | －<br>•新しいバッテリーに交換する。<br>•満充電されたバッテリーを取り付ける。<br>•満充電すると残量が正しく表示される。 | <br>16<br>14<br>14 |
| **バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。** | 残量表示にズレが生じた。 | 満充電すると残量が正しく表示される。 | 14 |
| **カセットが取り出せない。** | •電源（バッテリーやACアダプター／チャージャー）がはずれている。<br>•バッテリーが消耗している。 | •電源をきちんと接続する。<br>•満充電されたバッテリーを取り付ける。 | 16、17<br>14、16 |

## 撮影中・再生中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ◙や⏏が点滅し、カセット取出しつまみ以外働かない。 | 結露している。 | カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 166 |
| アイコンが出ている。 | 本機がカセットメモリーを認識できない。 | カセットを入れ直す。 | 21 |
| テープ残量表示が出ない。 | メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。 | 常にテープ残量を出したいときは「テープ残量」を「入」にする。 | 89 |

## “メモリースティック”操作中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 操作を受け付けない。 | • メモリーモードになっていない。<br>• “メモリースティック”が入っていない。 | • メモリーモードにする。<br>• “メモリースティック”を入れる。 | 103<br>96 |
| 撮影ができない。 | • すでにメモリー容量いっぱいに撮影している。<br>• フォーマット形式の異なる“メモリースティック”を入れた。<br>• “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | • 不要な画像を消去してから撮影する。<br>• 本機でフォーマットするか、別の“メモリースティック”を入れる。<br>• 「LOCK」を解除する。 | 131<br>93、96<br>95 |
| 画像を消去できない。 | • プロテクトされている。<br>• “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | • プロテクトを解除する。<br>• 「LOCK」を解除する。 | 130<br>95 |
| フォーマットが実行できない。 | “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | 「LOCK」を解除する。 | 95 |
| 全消去が実行できない。 | “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | 「LOCK」を解除する。 | 95 |

## “ メモリースティック ”操作中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **プロテクトが実行できない。** | •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。<br>•インデックス表示になっていない。 | •「LOCK」を解除する。<br>•インデックス表示にしてプロテクトを実行する。 | 95<br>130 |
| **プリントマークが実行できない。** | •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。<br>•インデックス表示になっていない。<br>•動画にプリントマークを付けようとしている。 | •「LOCK」を解除する。<br>•インデックス表示にしてプリントマークを付ける。<br>•動画にはプリントマークを付けることができません。 | 95<br>135<br>135 |
| **オートフォトコピーが実行できない。** | “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 | 「LOCK」を解除する。 | 95 |
| **正しい画像サイズで再生できない。** | 他機で撮影した画像を再生しようとすると画像サイズが正しく表示されないことがありますが、故障ではありません。 | ー | ー |
| **動画再生中に音声が出ない。** | 動画ファイルに音声が記録されていません。 | ー | 110 |

## その他

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **タイトルを入れられない。** | •タイトルがすでに20件入っている。<br>•カセットが誤消去防止状態になっている。 | •不要なタイトルを消去する。<br>•誤消去防止ツマミを元に戻す。 | 78<br>21 |
| **付属のワイヤレスリモコンが働かない。** | •メニューの「リモコン」を「切」にしている。<br>•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。<br>•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。<br>•乾電池そのものの寿命。 | •「入」にする。<br>•障害物を取り除く。<br>•⊕極と⊖極を正しく入れる。<br>•新しい乾電池に交換する。 | 89<br>ー<br>171<br>171 |

## その他

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **外部入力しているのに液晶画面やファインダーに画像が映らない。** | •メニューの「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」になっている。<br>•AV接続ケーブルの映像端子の設定が正しくない。 | •「パネル」にする。<br>•メニューの「ビデオ入力」で設定する。 | 89<br>89 |
| AC**アダプター/チャージャーで充電できない。** | ACアダプター/チャージャーのプラグがコンセントからはずれている。 | コンセントに差し込む。 | 14 |
| **バッテリー充電中に充電ランプが点滅する。または充電異常が表示される。** | •バッテリーが正しく取り付けられていない。<br>•バッテリーが故障している。 | •正しく取り付ける。<br>•テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。 | 14<br>ー |
| **電源が入っているのに操作できない。** | — | バッテリーまたはACアダプター/チャージャーのDKケーブルを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACアダプター/チャージャーのDKケーブルを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは、リセットボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めネットワークモードで設定した内容以外のすべての設定が解除されます。） | 16、17、170 |
| **本体に取り付けたバッテリーを充電中、充電ランプが点灯していない。** | •充電が完了している。<br>•バッテリーが正しく取り付けられていない。 | ー<br>•正しく取り付ける。 | 161<br>16 |
| **本体に取り付けたバッテリーを充電できない。** | 本機の電源スイッチが「切（充電）」になっていない。 | 電源スイッチを「切（充電）」にする。 | 161 |
| **本機に取り付けたバッテリーを充電中に充電ランプが点滅する。** | •バッテリーが正しく取り付けられていない。<br>•バッテリーが故障している。 | •正しく取り付ける。<br>•テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。 | 16<br>ー |

## その他

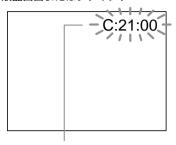
| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| **おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。** | •結露している。 | •カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。 | 166 |
| | •本機に異常が発生している。 | •カセットを入れ直し、再度操作し直す。 | ― |
| **画面にボタンが表示されていない。** | 画面表示ボタンを押した。 | •コントロールボタンの中央の●を押す。 | ― |
| | | •本機またはリモコンの画面表示ボタンを押す。 | 32 |
| **ファインダー内の文字が反転する。** | 対面撮影時におこる現象で、故障ではありません。（出力したモニターでも反転しますが故障ではありません。） | ― | 24 |
| USB**ドライバが接続できない。** | USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続した。 | 正しく認識されなかったドライブを削除してから、USBドライバをインストールする。 | 140 |
| **使用中に本機の温度が高くなる。** | 故障ではありません。 | ― | ― |
| i.LINK**ケーブルを使って他機と接続したときに、画像が映らない。** | 本機とDV機器を接続することはできません。 | ― | 69、73、108、112 |

# 自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面またはファインダーにアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面またはファインダー

**自己診断表示**
**「C:□□:□□」：**
**お客様自身で正常に戻せる状態**
**「E:□□:□□」：**
**テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく状態**

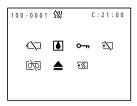
| 表示 | 原因 | 対応の仕方 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| C:04:□□ | “インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。 | “インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。 | 14、159 |
| C:21:□□ | 結露している。 | カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 166 |
| C:22:□□ | ビデオヘッドが汚れている。 | クリーニングカセットできれいにする。 | 165 |
| C:31:□□<br>C:32:□□ | お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。 | •カセットを入れ直し、再度操作し直す。<br>•電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。 | ー<br>ー |
| E:61:□□ | お客様自身で対応できない状態になっている。 | 電源を一度取りはずし、再度取りつけてください。それでも表示が出るときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。<br>例：E:61:10 | ー |

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

# 警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面またはファインダーには、次のような表示が出ます。

詳しい説明は、（　）内のページにあります。

## 警告表示

**100−0001 ファイル関連の警告**
遅い点滅
- ファイルが壊れている
- 扱えないファイル
- 動画ファイルをメモリーミックスしようとした（115ページ）

**C：21：00 自己診断表示**（155ページ）

**バッテリー残量に関する警告**
遅い点滅
- バッテリー残量が少ない
  使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5分から10分でも警告表示が点滅することがあります。

**結露の警告***
速い点滅
- テープが結露している
  テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（166ページ）

**“ メモリースティック ”関連の警告***
遅い点滅
- “ メモリースティック ”が入っていない

速い点滅
- 認識できない“ メモリースティック ”が入っている（95ページ）
- 取り込めない画像を記録しようとした（108、112ページ）

**“ メモリースティック ”フォーマット関連の警告***
速い点滅
- “ メモリースティック ”が壊れている（95ページ）
- “ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない（93ページ）

**テープ関連の警告**
遅い点滅
- テープ残量が5分を切った
- テープが入っていない*
- テープが誤消去防止状態になっている*（21ページ）

速い点滅
- テープが終わっている*

**テープを取り出す必要がある警告***
遅い点滅
- テープが誤消去防止状態になっている（21ページ）

速い点滅
- 結露している（166ページ）
- テープが終わっている
- 自己診断表示が出ている（155ページ）

**画像プロテクトの警告***
遅い点滅
- 画像が消去できないようになっている（130ページ）

**カセットメモリー関連の警告**
遅い点滅
- カセットを取り出し、もう1度入れ直してください。それでも点滅するときは、カセットのマイクロカセットメモリーが壊れている可能性があります

速い点滅
- 本機のカセットメモリー機能が壊れている場合があります

* 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

### お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（16ページ）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（16ページ）
- “ インフォリチウム ”バッテリーをつかってください（14ページ）
- テープが終わっています*
- カセットを入れてください*
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*（21ページ）
- メニューで日付　時刻をあわせてください（18ページ）
- ⊗ヘッドが汚れています／クリーニングカセットをつかってください（165ページ）
- 結露しています　カセットを取りだしてください*（166ページ）
  （テープが入っていないとき、メッセージは「結露しています」になります。）
- ダビングプロテクトされています　録画できません*（158ページ）
- メモリースティックを確認してください*（107ページ）
- メモリーフル（118ページ）
- メモリースティックのメモリーがいっぱいです*（105ページ）
- メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください*（95ページ）
- ファイルがありません*（120ページ）
- メモリースティックを入れてください*
- メモリースティック エラー*（96ページ）
- フォーマット中です*
- 全消去中です*
- メモリースティック フォーマットエラー*（93ページ）
- メモリースティック ディレクトリエラー*（119ページ）
- クリーニングカセットを取りだしてください（165ページ）
- タイトルがいっぱいです（76ページ）
- 入力信号がちがいます（73ページ）
- 信号を入力してください（74ページ）
- ダビングプロテクトされています（158ページ）
- メモリー上の動画はテープに記録できません（115ページ）
- カセットメモリーエラー（84ページ）
- モードを“ カメラ ”か“ ビデオ ”に切りかえてください（165ページ）
- クリーニングテープが終わっています　取りだしてください（165ページ）

* 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

# ビデオカセットについて

## 使えるビデオカセット

本機はMICROMV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、MICROMVカセットのみ使えます。MICROMVマークのついたカセットをお使いください。すべてのカセットにカセットメモリーが付いています。

8、Hi8方式やVHS、VHS C、S VHS、S VHS C、β、ED Beta、DV、D、Mini DV方式のビデオカセットは使えません。

## 著作権保護信号について

### 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

### 記録するとき

**著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。**
このような映像音声を記録しようとすると液晶画面またはファインダーに「ダビングプロテクトされています 録画できません」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

## MICROMVカセットについてのご注意

### ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。故障の原因になります。

### MICROMVカセットの使用後は

ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります。）
巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

### カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを入れ直してください。

---

**micro Cassette Memory、MICROMV および MICROMV は ソニー株式会社の商標です。**

# InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

### InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“ インフォリチウム ”バッテリーは、本機や別売りACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“ インフォリチウム ”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りACアダプター/チャージャーを使用すると、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

### 充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、充電ランプが消える（満充電）まで充電することをおすすめします。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、DKケーブルを本機のDC IN端子から抜くかバッテリーを取りはずしてください。

### バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、寒いところではバッテリーを使用できる時間が短くなります。安心してより長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  －バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  －高容量バッテリー「NP-FF70（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FF70（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

### バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

### バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使いきってください。ご使用の機器からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、カセットを入れずに電源を入れたままにしてください。

### バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

# i.LINK（アイリンク）について

本機のi.LINK端子（MICROMV）はi.LINKに準拠したMICROMV入力/出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

## i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

### ご注意

i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるMICROMV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

### ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

## i.LINKの転送速度について

本機の最大転送速度は「S400」です。

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

本機以外で特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

## 本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子（MICROMV）付きビデオとつないでダビングする方法については69、73ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器（パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。

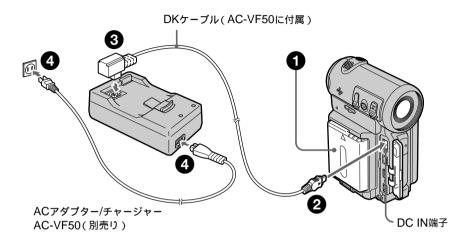
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

## 必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。

4ピン←　→4ピン（MPEG2ダビング時）

# 本体に取り付けたバッテリーを充電する

本機に取り付けたバッテリーを充電すること
ができます。（本体内充電）

**ご注意**

ACアダプター/チャージャーに接続したDKケーブルを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

❶ **バッテリーを本機に取り付ける。（16ページ）**

❷ **端子カバーを開け、DKケーブルの▲マークをレンズ側にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

❸ **DKケーブルをACアダプター/チャージャーにつなぐ。**

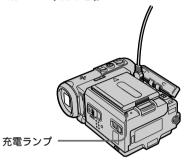
❹ **電源コードをACアダプター/チャージャーとコンセントにつなぐ。**



次のページへつづく

**充電中の充電ランプについて**
以下の場合、点滅することがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーが故障している。
- 周りの温度が極端に高いときや低いとき

### ❺ 本機の電源スイッチを「切（充電）」にする。

充電が始まると、充電ランプが点灯し、終わるとランプは消えます（**満充電**）。

### ❻ DKケーブルを本機から取りはずす。

バッテリーの充電が終わったら、DKケーブルを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

**充電時間**

| バッテリー | 満充電時間 |
|---|---|
| NP-FF50 | 120 |
| NP-FF70 | 150 |

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間（約　分）。

# 海外で使う

## 本機は海外でもお使いになれます

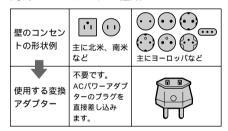
**本機のネットワーク機能は、日本国内のみでご使用できます。**

**別売りの**AC**アダプター／チャージャー**AC-VF50**は、全世界の電源**（AC100V～240V・50/60Hz）**でお使いいただけます。**

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、**電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。**

電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

### 海外のコンセントの種類

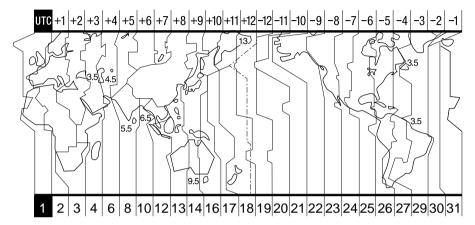
| | | |
|---|---|---|
| **壁のコンセントの形状例** | 主に北米、南米など | 主にヨーロッパなど |
| **使用する変換アダプター** | **不要です。**<br>ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。 | |

**再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式**（NTSC）**で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。**

### 日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

## 時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「エリア設定」と「サマータイム」を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。

### 世界時差表

| エリア表示 | 時差 | 地名・国名 |
|---|---|---|
| 1 | GMT | リスボン・ロンドン |
| 2 | ＋01:00 | ベルリン・パリ |
| 3 | ＋02:00 | ヘルシンキ・カイロ |
| 4 | ＋03:00 | モスクワ・ナイロビ |
| 5 | ＋03:30 | テヘラン |
| 6 | ＋04:00 | アブダビ・バク |
| 7 | ＋04:30 | カブール |
| 8 | ＋05:00 | カラチ・イスラマバード |
| 9 | ＋05:30 | カルカッタ・ニューデリー |
| 10 | ＋06:00 | アルマトイ・ダッカ |
| 11 | ＋06:30 | ラングーン |
| 12 | ＋07:00 | バンコク・ジャカルタ |
| 13 | ＋08:00 | ホンコン・シンガポール |
| 14 | ＋09:00 | トウキョウ・ソウル |
| 15 | ＋09:30 | アデレード・ダーウィン |
| 16 | ＋10:00 | メルボルン・シドニー |
| 17 | ＋11:00 | ニューカレドニア |
| 18 | ＋12:00 | フィジー・ウェリントン |

| エリア表示 | 時差 | 地名・国名 |
|---|---|---|
| 19 | －12:00 | エニウェトク・クエジェリン |
| 20 | －11:00 | サモア |
| 21 | －10:00 | ハワイ |
| 22 | －09:00 | アラスカ |
| 23 | －08:00 | サンフランシスコ・ティファナ |
| 24 | －07:00 | デンバー・アリゾナ |
| 25 | －06:00 | シカゴ・メキシコシティ |
| 26 | －05:00 | ニューヨーク・ボゴタ |
| 27 | －04:00 | セントジョン・サンティアゴ |
| 28 | －03:30 | ニューファンドランド |
| 29 | －03:00 | ブラジリア・ブエノスアイレス |
| 30 | －02:00 | フェルナンド デ ノローニャ |
| 31 | －01:00 | アゾレス・カボベルデ |

**時差を補正するには**

メニューから「エリア設定」を選び、時差を補正したい国または地域を選び、決定します。

# お手入れ

### ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。
次のような症状になったときは、乾式クリーニングカセットMGRCLDを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- 録画中に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。

**ビデオヘッドが汚れているときの画像**

や

ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面になります。このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

### クリーニングカセット自動再生について

本機にはクリーニングカセット自動再生機能があります。次の操作を行ってください。

**1 電源スイッチでカメラモードまたはビデオモードにする。**

**2 クリーニングカセットを本機に入れる。**

**3 「実行」を選び、決定する。**
「クリーニング中」が出ます。

クリーニングが終了すると「クリーニングカセットを取りだしてください」と表示されます。

**4 クリーニングカセットを取り出す。**

### クリーニングを中止する

「中止」を選び、決定してください。

---

**ビデオヘッドは**
長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

**ご注意**

- ビデオヘッドをクリーニングするときは、クリーニングカセット以外は使わないでください。
- メモリー/ネットワークモードではクリーニングカセットは使用できません。

# お手入れ（つづき）

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

結露しています
カセットを
取りだしてください

（5秒間表示）

## 結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出しスイッチ以外は働きません。
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットぶたを開けてから約10秒間、カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットぶたを閉じないでください。

## 液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。

別売りの液晶クリーニングキット（KK-LC1）を使用するときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませてご使用ください。

## レンズのお手入れおよび保管について

- レンズ面に指紋などがついたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使用したときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的におこなってください。またビデオカメラレコーダーを良好な状態で長期にわたってご使用いただくためにも、月に一回程度、ビデオカメラレコーダーの電源を入れて操作することをおすすめします。

---

**結露が起こりやすいのは**

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

**結露を起こりにくくするために**

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

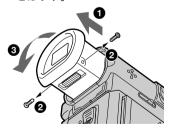
### 内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し3か月近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

**充電方法**

本機を別売りのACアダプター／チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

### ファインダーをきれいにする

❶
1. **ファインダーをのばす。**
2. **両側のネジを2本はずす。**
3. **ツメを押しながら、アイカップをはずす。**

アイカップの軸を落としたり、曲げたり、ケガをしないようにご注意ください。

❷ **アイカップの内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。**

❸ **❶と逆の動作でアイカップを取り付ける。**

その他

# 主な仕様

## システム

| | |
|---|---|
| 録画方式 | 回転2ヘッドヘリカルスキャン |
| 録音方式 | 回転2ヘッド<br>12ビット48 kHz |
| 映像信号 | NTSCカラー、EIA標準方式 |
| 使用可能カセット | マークのついたMICROMVカセット |
| テープ速度 | 約5.66 mm/秒 |
| 録画/再生時間 | 60分 |
| 早送り、巻き戻し時間 | 約1分30秒（MGR60使用時） |
| ファインダー | 電子ファインダー：カラー |
| 撮像素子 | 3.0 mm（1/6型）CCD固体撮像素子<br>約68万画素（有効画素数：約34万画素） |
| ズームレンズ | カール ツァイス<br>10倍（光学）、120倍（デジタル）<br>f=2.3～23 mm（35 mmカメラ換算では44～440 mm）<br>F1.7～2.3<br>フィルター径30 mm |
| 色温度切り換え | オート、ホールド、☼屋内（3 200K）、屋外（5 800K） |
| 最低被写体照度 | 15ルクス（F1.7） |

## 入・出力端子

| | |
|---|---|
| 映像／音声端子 | 10ピン特殊コネクター<br>入力／出力自動切り換え<br>映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負<br>Y出力　1 Vp-p 75 Ω不平衡、同期負<br>C出力　0.286 Vp-p 75 Ω不平衡<br>音声：327 mV（47 kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2 kΩ入力インピーダンス47 kΩ以上 |
| USB端子 | mini-B |
| i.LINK（MICROMV）端子 | i.LINK（IEEE1394．4ピン特殊コネクターS400） |

## 液晶画面

| | |
|---|---|
| 画面サイズ | 6.2 cm（2.5型） |
| 総ドット数 | 211 200ドット<br>横960×縦220 |

## ワイヤレス通信

| | |
|---|---|
| 通信方式 | Bluetooth標準規格 Ver.1.1 |
| 最大通信速度[1) 2)] | 約723 kbps |
| 出力 | Bluetooth標準規格 Power Class 2 |
| 通信距離[2)] | 見通し最大約10 m（BTA-NW1（別売り）との接続時） |
| 対応Bluetoothプロファイル[3)] | Generic Access Profile、Dial-up Networking Profile |
| 使用周波数帯 | 2.4 GHz帯（2.400 GHz～2.4835 GHz） |

1) Bluetooth標準規格 Ver.1.1の最大データ通信速度。
2) 通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
3) Bluetooth搭載機器同士の使用目的に応じた仕様です。Bluetooth標準規格で定められています。

## 電源部、その他

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | バッテリー端子入力7.2 V<br>DC端子入力8.4 V |
| 消費電力（バッテリー使用時） | 3.5 W<br>（ファインダー使用時、明るさ標準）<br>4.2 W<br>（液晶画面使用時、液晶画面バックライト「入」）<br>3.5 W<br>（液晶画面使用時、液晶画面バックライト「切」） |
| 動作温度 | 0℃～+40℃ |
| 保存温度 | –20℃～+60℃ |
| 外形寸法 | 47×103×80 mm（最大突起部を除く）（幅×高さ×奥行き） |
| 本体質量 | 約 310 g（本体のみ） |
| 撮影時総質量* | 約 370 g<br>* バッテリーNP-FF50、テープ（MGR60）、レンズキャップ、リストストラップ含む。 |
| 付属品 | レンズキャップ（1）<br>ワイヤレスリモコン（1）<br>単3形乾電池（リモコン用）（2）<br>AV接続ケーブル（1）<br>バッテリー端子カバー（1）<br>クリーニングカセット（1）<br>取扱説明書（1）<br>ネットワーク機能取扱説明書（1）<br>安全のために（1）<br>カスタマーご登録のお勧め（1）<br>保証書兼カスタマーご登録はがき（1）<br>カスタマーご登録CD-ROM（1） |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを**

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

**それでも具合の悪いときは**

テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にご相談ください。

**保証期間中の修理は**

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

**部品の保有期間について**

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

# 各部のなまえ

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

## 本体

**「開く」ボタン**（22ページ）

**ブラウザメニューボタン**（147ページ）（別冊のネットワーク機能取扱説明書をご覧ください。）

**液晶画面**（24ページ）

**視度調節つまみ**（26ページ）

**開く／⏏カセット取出しつまみ**（21ページ）

**液晶画面バックライトスイッチ**（25ページ）

**レンズキャップ**（22ページ）

**スピーカー**

**電源スイッチ**（8ページ）

**カセットぶた**（21ページ）

**画面表示ボタン**（32ページ）

**コントロールボタン**（9ページ）

**カメラランプ**

**メモリー/ネットワークランプ**

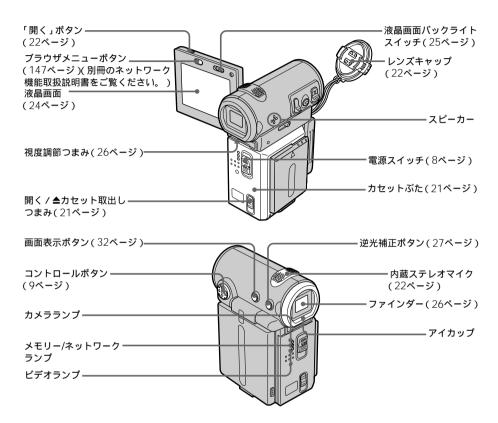
**ビデオランプ**

**逆光補正ボタン**（27ページ）

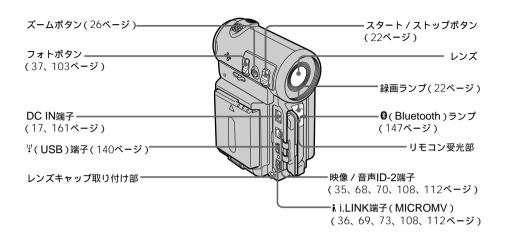
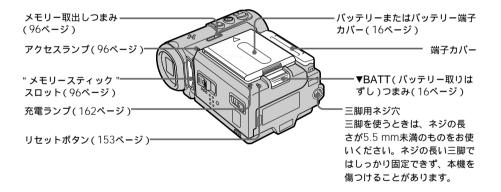
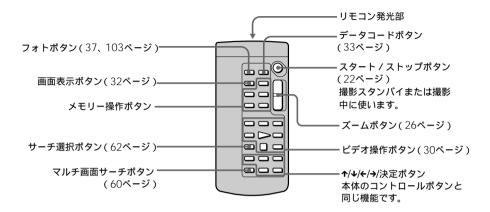
**内蔵ステレオマイク**（22ページ）

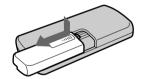
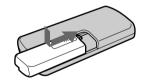
**ファインダー**（26ページ）

**アイカップ**

---

**この純正マークは、ソニー（株）のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。**

ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は, 純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

三脚を使うときは、ネジの長さが5.5 mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

## ワイヤレスリモコン（RMT-817）

### 電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 ❷ 入れる。 ❸ 元に戻す。

**リモコンについて**

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

## ファインダーと液晶画面の表示

# 索引

## ア行



## カ行



## サ行



## タ行



## ハ行



## マ行



## ラ行



## ワ行



## アルファベット順

## カスタマー登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「ハンディカム カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

**■カスタマー登録および登録内容の変更はこちらのホームページから**
http://www.sony.co.jp/di-regi/

**■カスタマー登録に関するお問い合わせは**
**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**
**電話：** 03-5977-7255
**受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時**
**（ただし、年末、年始、祝日を除く）**

## お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

**■ デジタルイメージングカスタマーサポート**
デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
**http://www.sony.co.jp/support-di/**

**■ テクニカルインフォメーションセンター**
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
**電話：** 0564-62-4979
**受付時間：** **月～金曜日　午前9時～午後5時**
**（ただし、年末、年始、祝日を除く）**

**D-Imaging World（デジタルイメージングワールド）**
ハンディカムやデジタルスチルカメラを楽しく使っていただくためのホームページです。
**http://www.sony.co.jp/di-world/**

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

3 0 6 9 9 3 3 0 2